

第3回 SWIM コミュニティ (SWIMEE)

場 所: 対面、Web によるハイブリッド会議
合同庁舎 3 号館 国土交通省 10F 共用会議室

日 付: 2026 年 5 月 14 日 (木)

時 刻: 13 時 30 分～17 時 00 分 ※最長 17 時 30 分

主催者: 航空交通管制サービス高度化センター情報高度化推進課

ディスカッションテーマ

- (1) 開催の挨拶 (SWIMEE の概要含む)
 - (2) 第 2 回 SWIMEE のふりかえり
 - (3) デジタル技術の利用 (Web API 編)
 - (4) 情報サービスのユースケース
- 休憩
- (5) 情報サービスの改善要望等の共有
 - (6) SWIMEE に関する質問・意見等の公開
 - (7) 閉会の挨拶



SWIMMEE

SWIM Education and
Enhancement team

【第3回SWIMMEE】

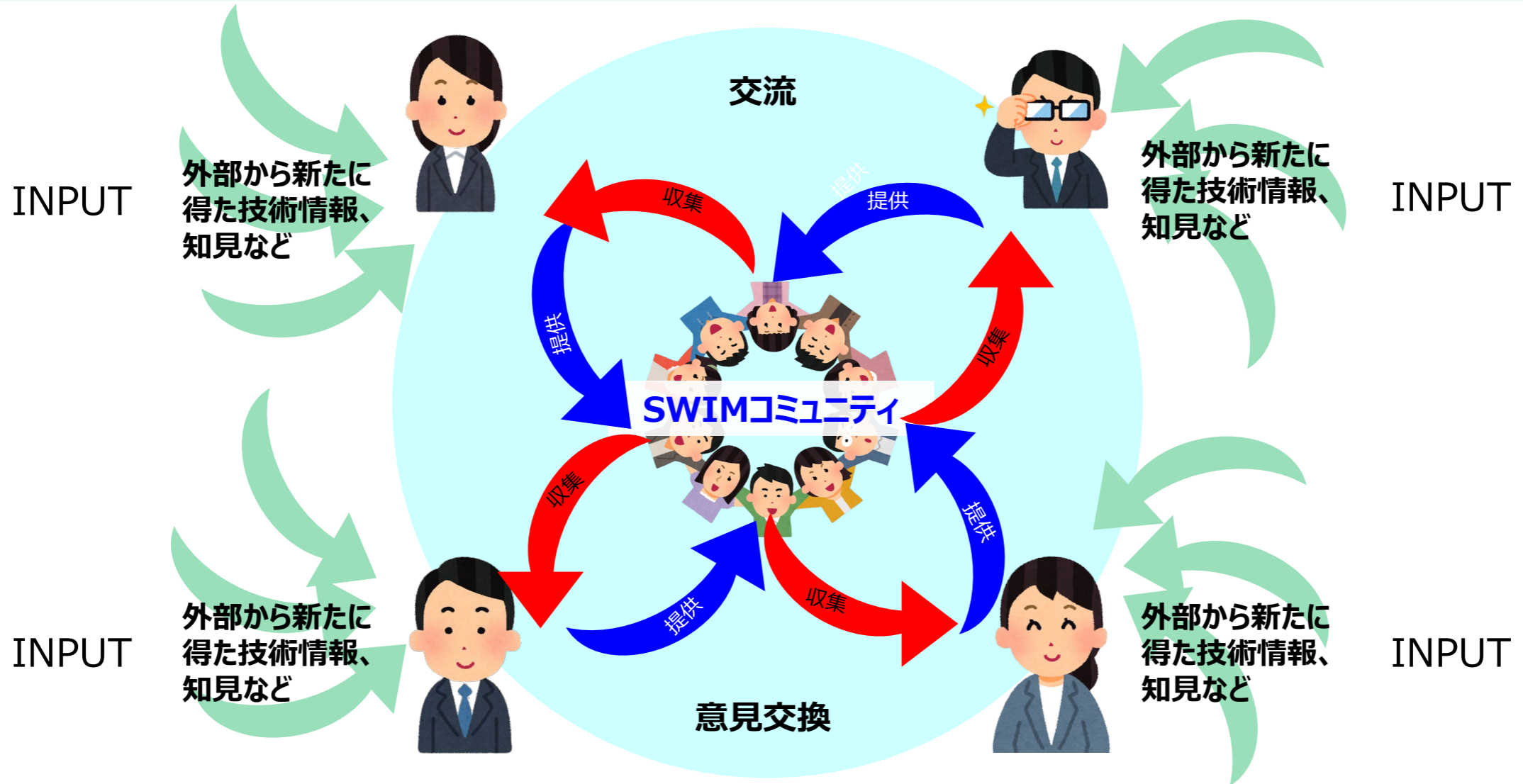
はじめに SWIMコミュニティ～SWIMMEE～について

航空交通管制サービス高度化センター 情報高度化推進課

令和8年5月14日

SWIMコミュニティの目的

SWIMの継続的な改善にあたっては、**SWIMステークホルダー等の対話による自由な意見交換（情報提供、情報収集、情報交換、フィードバック等）が重要となる。**
自由な意見交換を促進するための場として、SWIMコミュニティを設置する。



SWIMコミュニティの目的

SWIMコミュニティは、SWIMコミュニティ参加者が協調・協働して、SWIMへの理解を深めるとともに、SWIMの発展を促すことにより、SWIMの継続的な改善を図り、もってSWIMステークホルダーの価値実現に寄与することを目的とする。



理解促進



発展

継続的改善



価値実現



協調・協働

SWIMコミュニティの短期的な目標

短期的な目標（SWIMEE初期）

- SWIMステークホルダーのSWIMに関する理解の促進（勉強会、ワークショップなど）
- SWIMステークホルダーの交流・関係構築を図る（対面形式による開催）
- SWIMコミュニティを心理的安全性の高い場とする（他者の尊重・多様性の受け入れ・建設的な意見交換など）



SWIMに関する理解の促進



SWIMステークホルダーの
交流・関係構築



心理的安全性の高い場づくり

SWIMコミュニティの活動内容

- (1) SWIMコミュニティ参加者相互間の**情報交換**及び**交流**に関すること。
- (2) SWIMに関する**情報の収集**及び**提供**に関すること。
- (3) SWIMの**啓発**及び**発展**に関すること。
- (4) その他**SWIMコミュニティの目的**に資すること。



情報交換



交流



情報収集



情報提供



啓発



発展

SWIMコミュニティ参加者の行動指針

- (1) 他のSWIMコミュニティ参加者へ**敬意をもって接すること**。
- (2) 他のSWIMコミュニティ参加者の**多様性を受け入れること**。
- (3) その他、SWIMコミュニティ参加者全員が**安心して、交流・参加できる場作り**に努めること。



心理的安全性の高い場づくりを目指す！

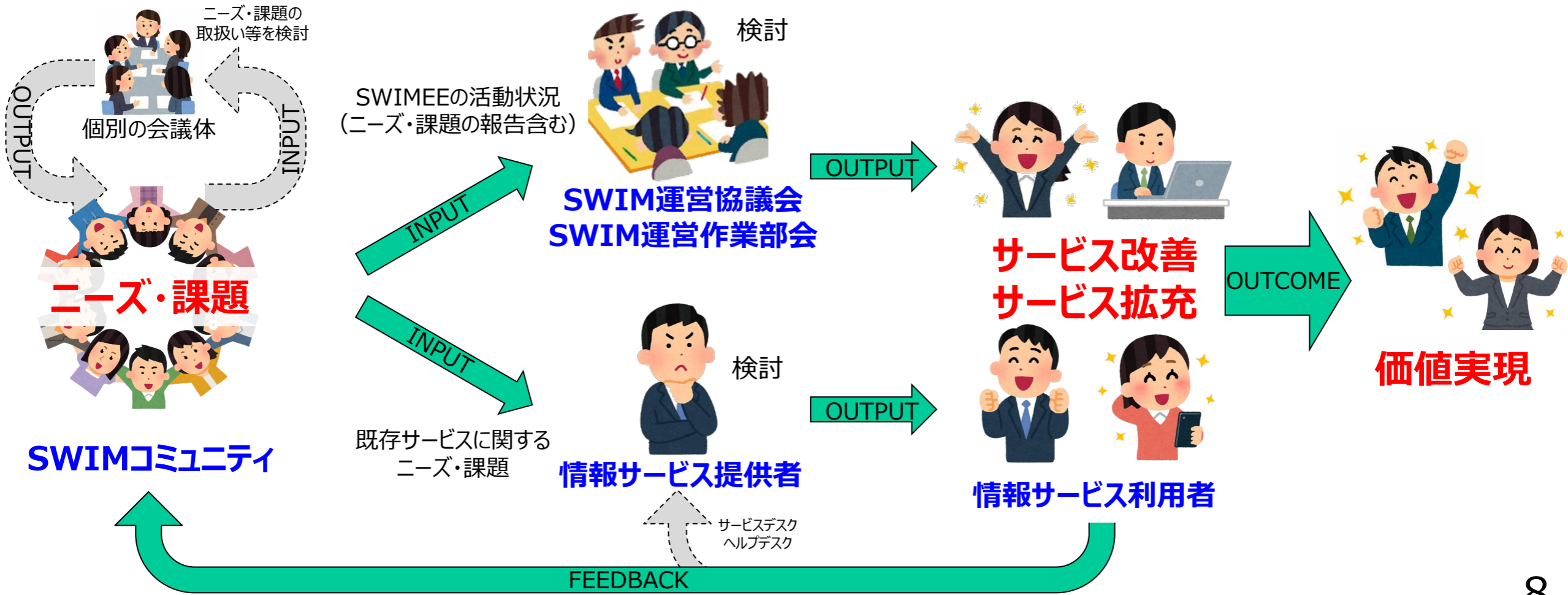
SWIMコミュニティにおける禁止事項

- (1) **SWIMと関係のない意見、要望、質問**を行うこと
- (2) **法令等に違反する内容**、又は**違反やこれを助長するおそれがあること**
- (3) 他のSWIMコミュニティ参加者、特定の個人・団体等を**誹謗中傷すること**
- (4) **政治、宗教活動**を目的とすること
- (5) 著作権、商標権、肖像権など**知的所有権を侵害すること**
- (6) **広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利**を目的とすること
- (7) 人種・思想・信条等の**差別又は差別を助長させるもの・公の秩序又は善良の風俗に反すること**
- (8) **虚偽や事実と異なる内容及び単なる風評や風評を助長させること**
- (9) 本人の承諾なく個人情報[※]を特定・開示・漏えいする等**プライバシーを害すること**
- (10) 他のコミュニティ参加者、第三者等**になりすますこと**
- (11) **わいせつな表現**などを含む不適切なこと
- (12) SWIMコミュニティの**円滑な進行を妨げること**
- (13) SWIM管理者の許可なく、SWIMコミュニティにおいて**撮影、録音、録画**を行うこと
- (14) SWIM管理者の許可なく、SWIMコミュニティの資料、内容等を**公開、掲示、配布**すること。
- (15) その他、**SWIMコミュニティ運営事務局が不適切と判断した発言、記載等**（リンク等を含む）



SWIMEEにおけるニーズ・課題

SWIMEEで収集したニーズや課題については、**SWIM運営協議会及びSWIM運営作業部会に活動状況を報告し、サービス改善や新規サービスの検討**により、SWIMの継続的な改善に繋げていく。
また、既存サービスに関するものは**各情報サービス提供者においてもサービス改善の検討**が行い、SWIMの継続的な改善に繋げていく。





SWIMコミュニティ～SWIMEE～の目的、行動指針、禁止事項等を理解していただいた上で今回のSWIMコミュニティ～SWIMEE～を進めていきたいと思ひます。



SWIMMEE

SWIM Education and
Enhancement team



【第3回SWIMMEE】

デジタル技術の利用（Web API編）

航空交通管制サービス高度化センター 情報高度化推進課

令和8年5月14日

SWIMにおけるデジタル技術のおさらい

SWIMとDXの関係性

PANS-IMにて“航空交通管理のデジタル変革（DX）にはシステム横断的な情報管理（SWIM）が不可欠”とされている。

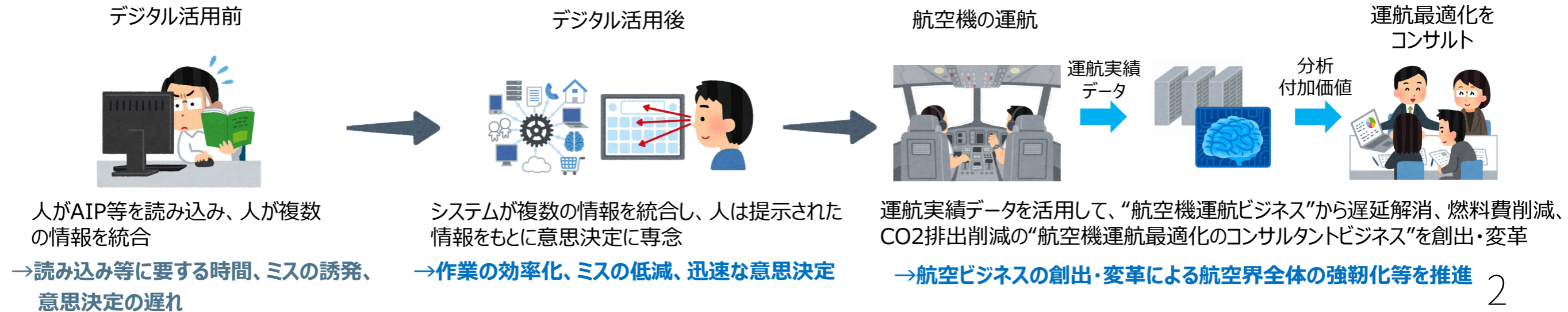
SWIMを活用した可能性

- ・SWIMを利用することにより**利便性の向上**や**迅速な意思決定に注力**することができ、**航空界全体の強靱化等を推進**する。
- ・**希望する方法で必要な情報をカスタマイズ**することが可能である。

SWIMにおけるデジタル技術

ブラウザ、**Web API、Pub/Sub**、メッセージ転送といったデジタル技術が使用されている。

デジタル技術の活用～DXの例



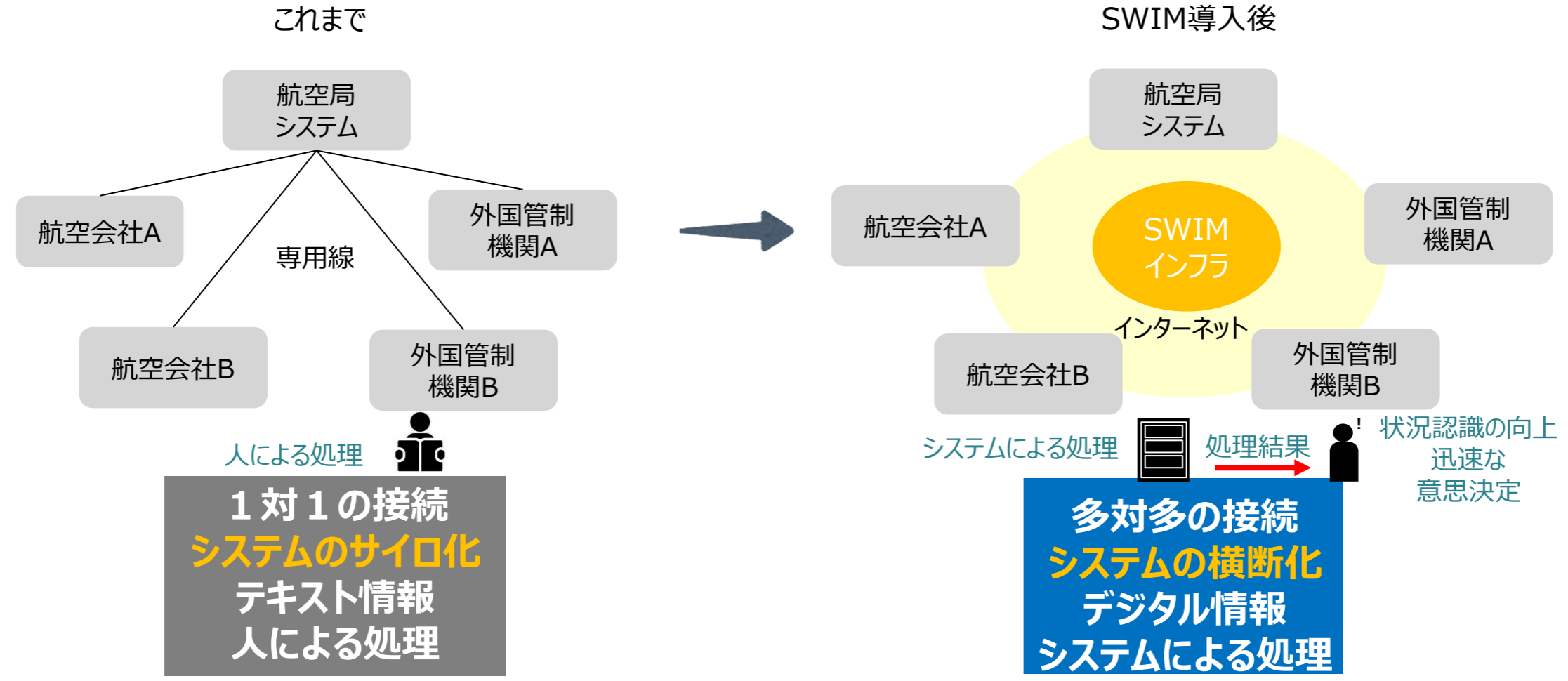
SWIMにおけるデジタル技術のおさらい

接続が容易に！

これまでの航空局システムとの連携は専用線接続であり、接続にあたってはインターフェースの調整等に時間を要していたが、**SWIM導入後はインターネットを利用することで、容易に接続が可能**となる。

費用面の効果！

これまでの専用線接続では高額な費用が発生していたが、**SWIM導入後はインターネットを利用することで、費用を安価に抑えることが可能**となる。



議題の目的と構成

目的

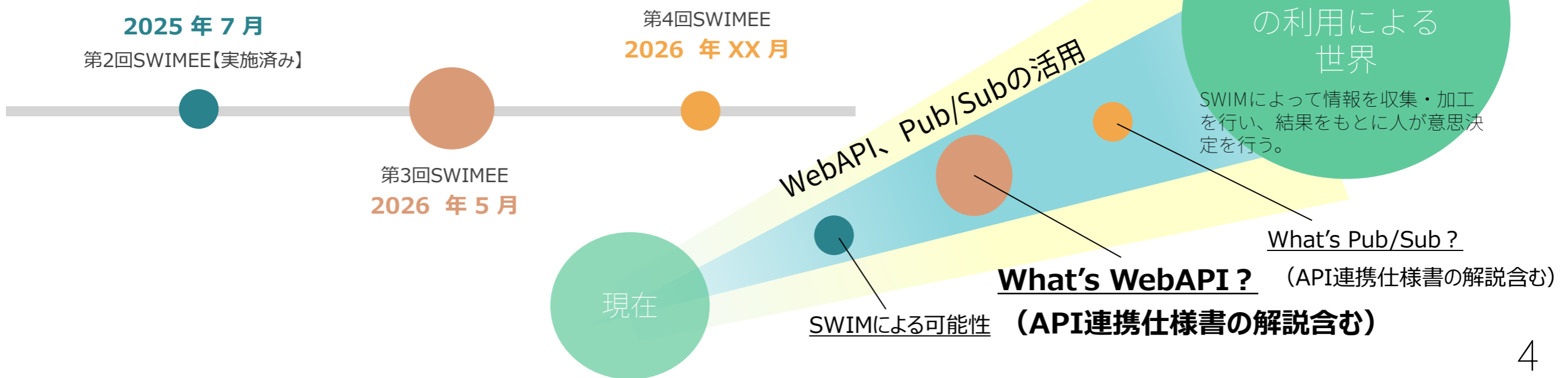
SWIMEEにおいて、多対多の情報交換を可能とし、システム横断的な情報管理を実現するための、デジタル技術（WebAPI、Pub/Sub等）の利用による可能性、デジタル技術の概要、SWIMにおける技術資料の解説までを段階的に説明することにより、デジタル技術への理解を深め、デジタル技術を利用したSWIMの利用促進につなげることを目的とする。

構成

- 1. SWIMによる可能性～デジタル技術の利用～ 第2回SWIMEEで実施済み
- 2. What's WebAPI? ～SWIMとWeb APIの仕組み・関係について～
- 3. What's Pub/Sub? ～SWIMとPub/Subの仕組み・関係について～
- 4. なるほど!“技術資料”～SWIMサービスAPI連携仕様書について～



今回はこれ！
※技術資料の解説はWebAPIのみ



サービス区分	サービス名称	サービス提供方式				サービス利用審査
		ワンストップ (ブラウザ)	ワンストップ (WebAPI)	Pub/Sub メッセージ配 信	メッセージ転 送	
配信サービス	デジタルノータム配信サービス			○*		有
	AIPデータ配信サービス (初回)				○*	有
	AIPデータ配信サービス (更新)			○*		有
	ATIS情報配信サービス			○*		有
	C-PIREP配信サービス			○		有
	気象情報配信サービス			○		有
	ATS情報配信サービス				○*	有
WEBサービス	デジタルノータム登録サービス (発行依頼)	○	○*			有
	デジタルノータム登録サービス (個別テンプレート依頼状況表示)	○				有
	デジタルノータム登録サービス (個別テンプレート管理)	○				有
	デジタルノータムリクエストサービス	○	○*			無
	AIPファイルダウンロードサービス	○				無
	AIP閲覧サービス	○				無
	ATIS情報リクエストサービス	○	○*			無
	C-PIREP登録サービス	○*	○*			有
	C-PIREPリクエストサービス		○			有
	空港プロファイルサービス	○				有
	空域プロファイルサービス	○				無
	フライトプラン登録サービス	○*	○*			有
	ATS情報リクエストサービス		○			有
	スロットリクエストサービス	○*				有
	メッセージWebメールサービス	○*	○*			有
PKGリクエストサービス		○			有	

*情報サービス提供者が「サービス説明書」で定めた「申請書」の提出も必要



インターネット環境があれば利用可能

利用者側でシステム構築が必要



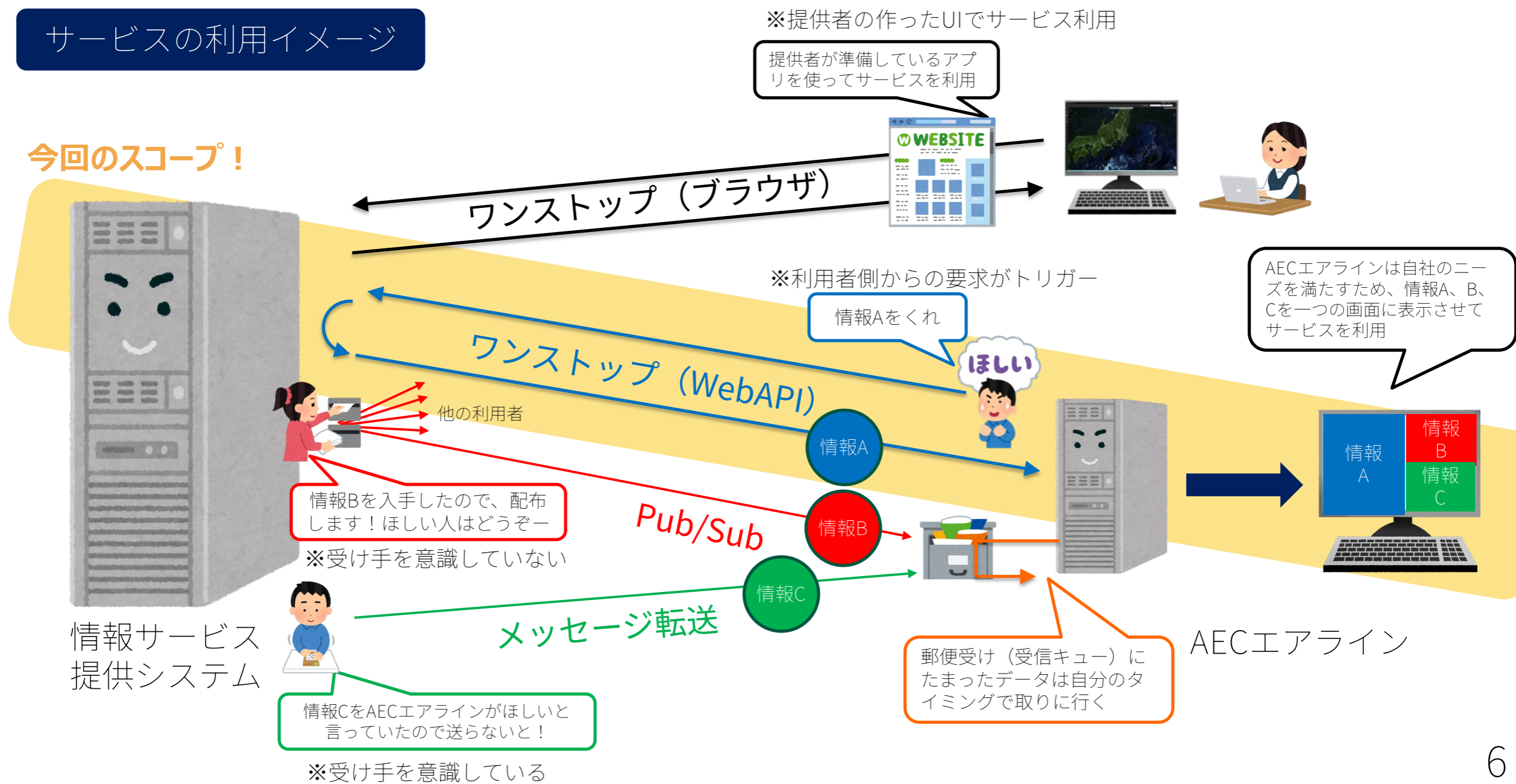
「有」は情報サービス提供者によって利用審査が行われる



SWIMサービスの利用イメージ

サービスの利用イメージ

今回のスコープ!





【第3回SWIMMEE】

What's WebAPI?

～SWIMとWebAPIの仕組み・関係について～

航空局 交通管制部 運用課

令和8年5月14日

各議題の概要

1. SWIMによる可能性～デジタル技術の利用～

SWIMとDXの関係性を理解し、デジタル技術の利用によって、効果的かつ効率的な運用の実現可能性について説明を行い、デジタル技術の概要、必要性について理解する。

2. What's WebAPI? ～SWIMとWebAPIの仕組み・関係について～

WebAPIの基本的な内容から、SWIMにおけるWebAPIの活用方法について解説。

3. What's Pub/Sub? ～SWIMとPub/Subの仕組み・関係について～

Pub/Subの基本的な内容から、SWIMにおけるPub/Subの活用方法について解説。

4. なるほど!“技術資料”～SWIMサービスAPI連携仕様書について～

SWIMサービスAPI連携仕様書を解説し、サービスを利用するにあたっての申請、MASSからの情報の取り込み、処理するシステムの構築、サービス利用開始といった流れ、必要書類等含めた情報サービス提供者との調整方法を説明。

本資料の目的

SWIMにおけるWebAPIについて理解を深める

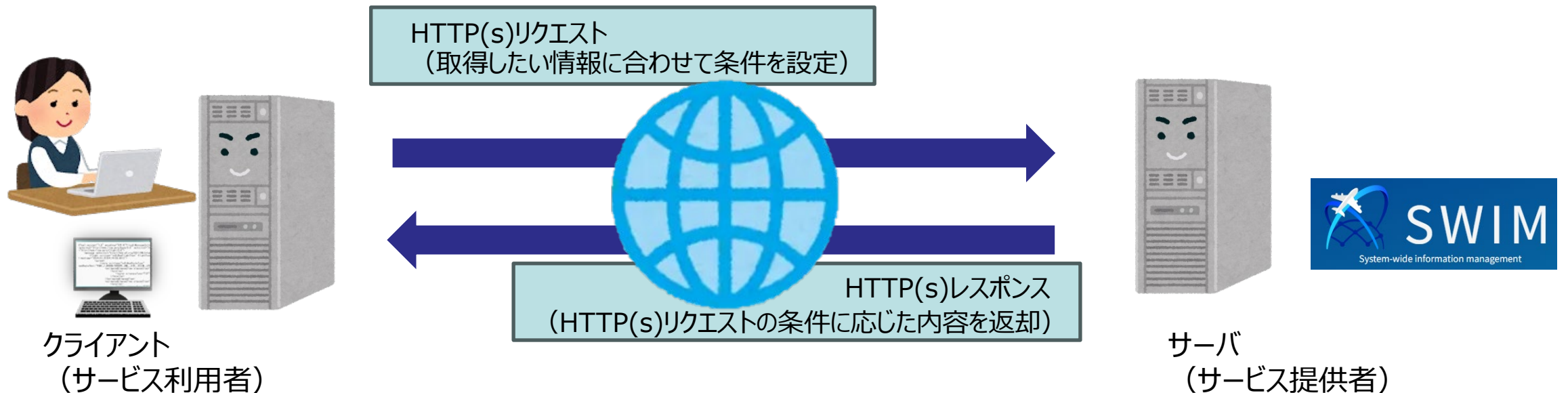
- WebAPIの仕組みや動作原理などの技術的な側面の理解促進
- WebAPIを利用するための利用手続など運用上のポイントの整理

構成

1. WebAPIの仕組み
2. WebAPIの利用について
3. WebAPI関連資料
4. WebAPI関連資料の読み方
5. デモアプリを用いたケーススタディ

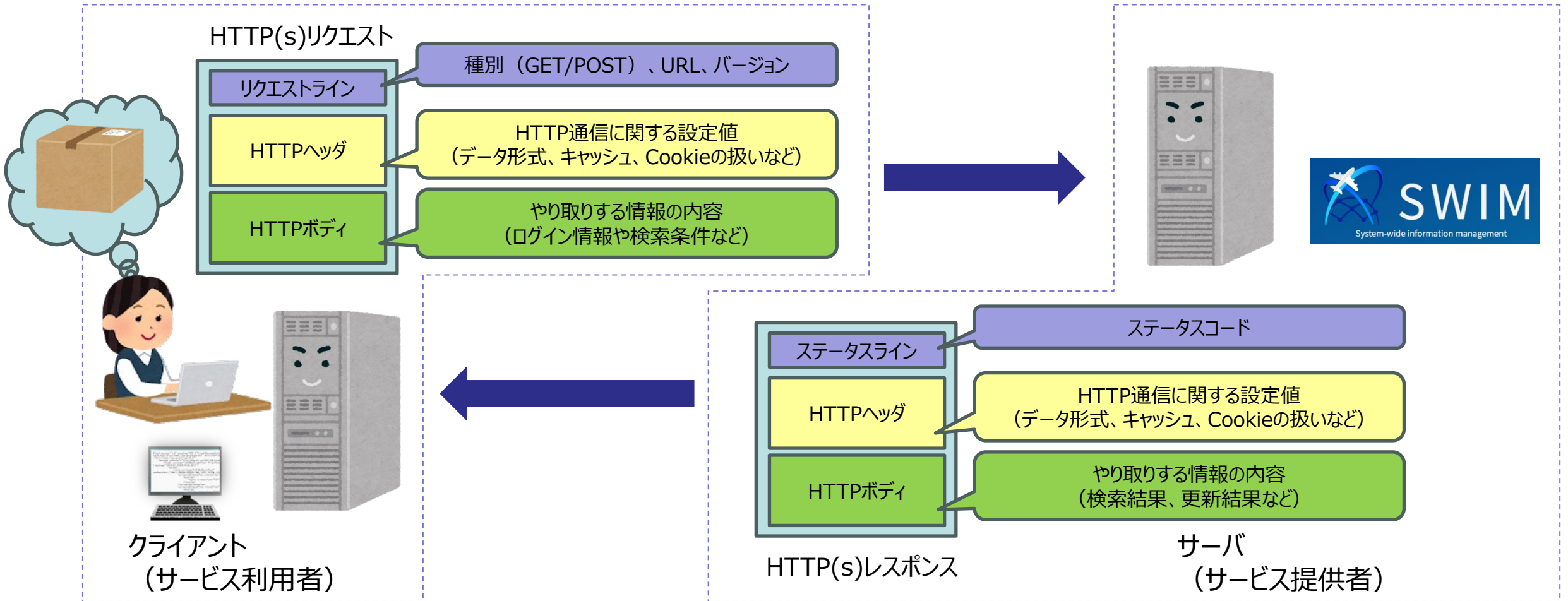
WebAPIの仕組み

- SWIMのWebAPI連携ではREST API (REpresentational State Transfer API) という仕組みを活用
- Web上のリソースに対してHTTP(s)を用いて情報のやり取りを行う
 - クライアント(サービス利用者)からサーバに対してHTTP(s)リクエストを送信する
 - サーバ(サービス提供者)からHTTP(s)リクエストの内容に応じたレスポンスが返却される
 - HTTPでやり取りする情報には、リクエスト先のURL、リクエスト種別(GET/POST等)、HTTPヘッダ、HTTPボディ、ステータスコードなどがある



WebAPIの仕組み

- WebAPI ではクライアントからHTTP(s)リクエスト【リクエストライン、HTTPヘッダ、HTTPボディ】を送付し、サーバから対応するHTTP(s)レスポンス【ステータスライン、HTTPヘッダ、HTTPボディ】が返却される



WebAPIの利用について

SWIMのWebAPI利用にあたっては以下の準備や手順が必要

準備

Webブラウザ

1

SWIMポータル上でサインアップ
(アカウント作成)を行う

2

SWIMポータルにログイン後、
サービスの利用申請を行う

サービス提供者

3

サービスの利用申請を承認する
(承認ありサービスの場合)

2'

各サービス提供者にメール
にて追加資料の送付

3'

URL付API連携仕様書の送付

手順

WebAPI

4

API(ログイン 要求)を実行する
(ID、パスワードを設定)

5

API(ログイン 応答)のデータ内
のCookie情報を取得する

6

⑤のCookieや条件を設定し、
API(各種API要求)を実行する

SWIM管理サービス

各サービス

WebAPIの利用について

【参考】

「サービス説明書」のフローを確認

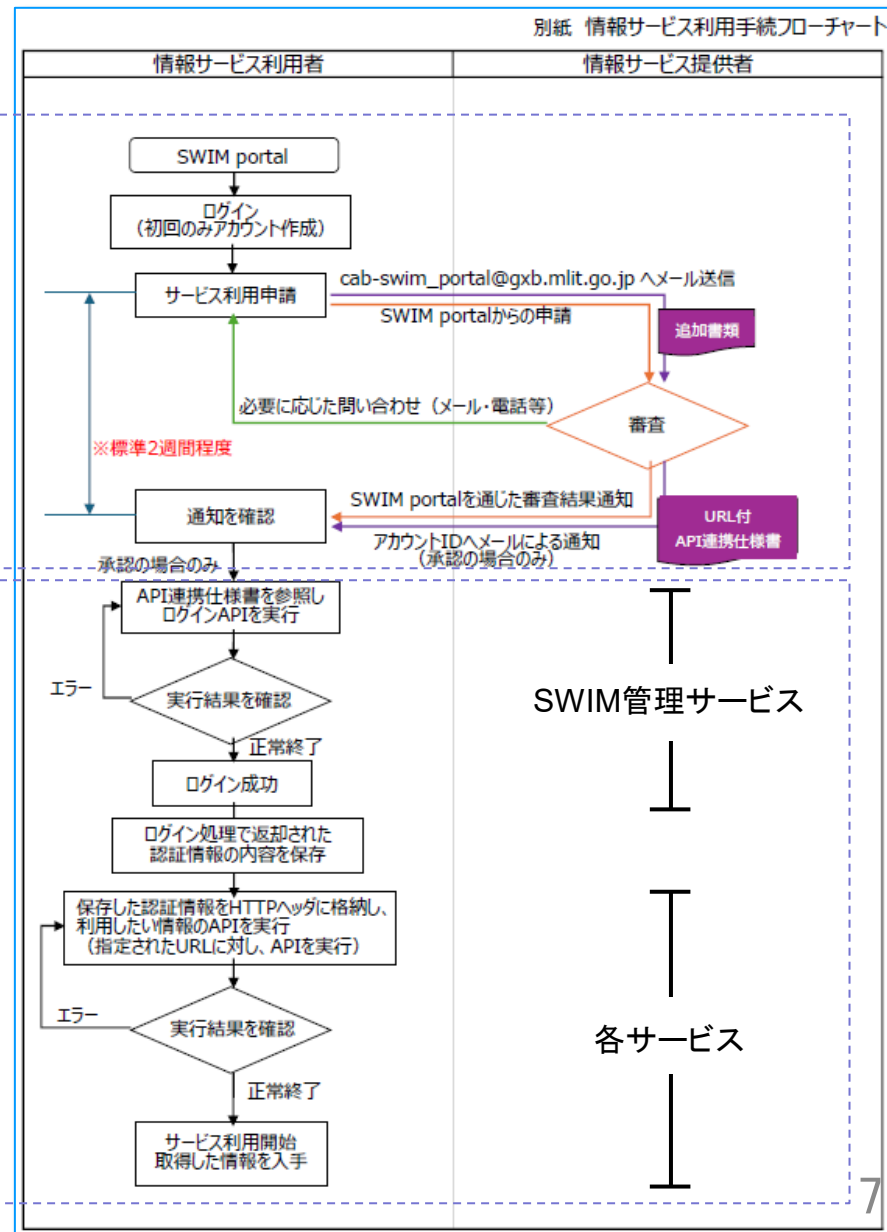
右図はデジタルノートタムリクエストサービスのフロー



<https://web.swim.mlit.go.jp/service/inuse-servicedetails/document/S2019>

準備

手順



WebAPI関連資料 (SWIM管理サービス編)

資料はこちら↓



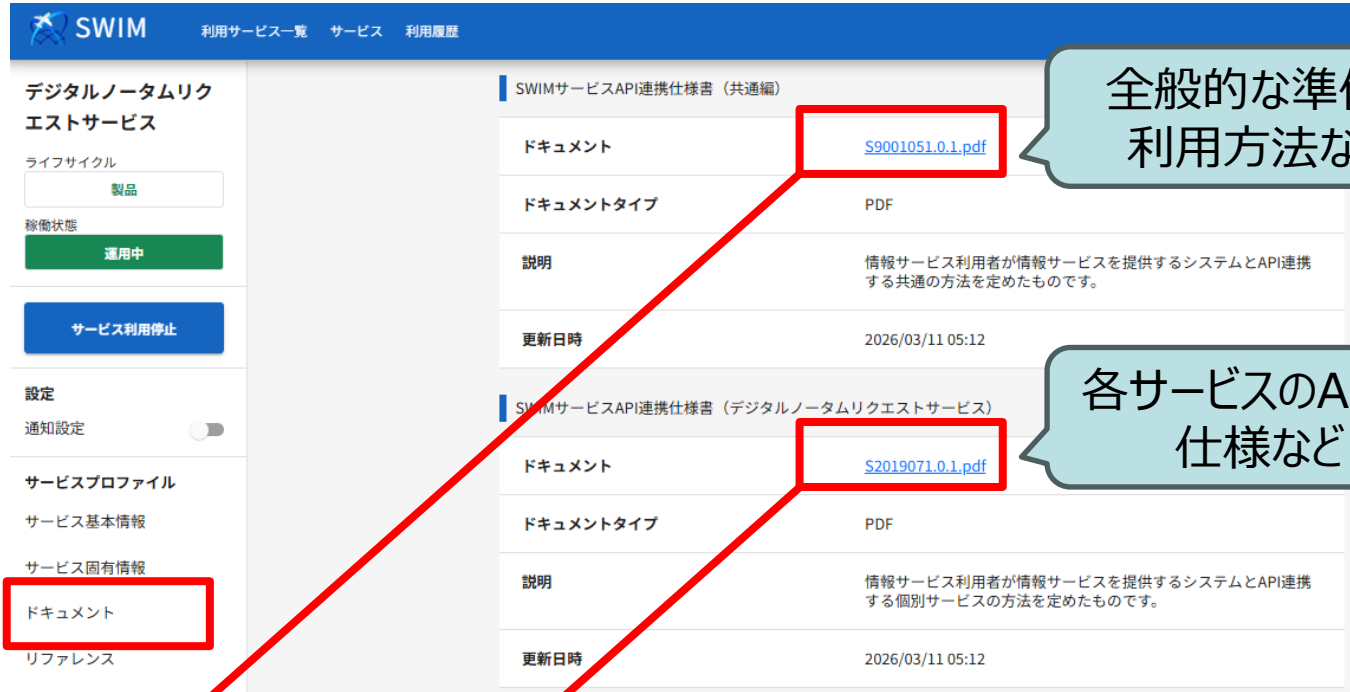
<https://web.swim.mlit.go.jp/service/inuse-servicedetails/document/S9001>

国土交通省 航空局
SWIM サービス API 連携仕様書
共通編

国土交通省 航空局
SWIM サービス API 連携仕様書
付録 01_SWIM 管理サービス

WebAPI関連資料（各サービス編）

資料はこちら↓



<https://web.swim.mlit.go.jp/service/inuse-servicedetails/document/S2019>

国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

共通編

国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

付録04_デジタルノートムリクエストサービス

WebAPI関連資料の読み方（共通編）

WebAPI

手順

4

API(ログイン 要求)を実行する
(ID、パスワードを設定)

5

API(ログイン 応答)のデータ内
のCookie情報を取得する

6

⑤のCookieや条件を設定し、
API(各種API要求)を実行する

国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

共通編

2. サービス利用フロー

本システムが提供するサービスについて、Web API、AMQP それぞれの利用フローを記載する。

2.1 WebAPI 利用フロー

WebAPI を利用する際のフローを 図 2.1-1 の通り示す。

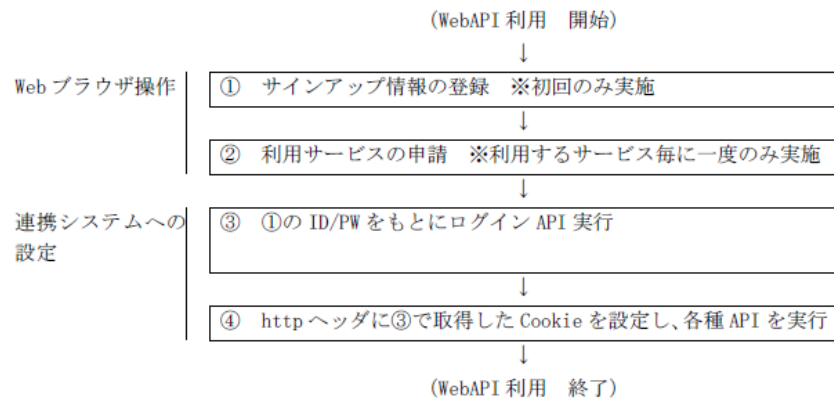


図 2.1-1 WebAPI 利用フロー

2.1.3 ログイン API の実行

付録1 ログイン API を実行する。

API のリクエストには 2.1.1 で設定したアカウント ID とパスワードを設定する。

API のレスポンスに含まれる HTTP ヘッダの「Set-Cookie」の内容を保存する。

2.1.4 各種 API の実行

各付録の利用対象の API を実行する。

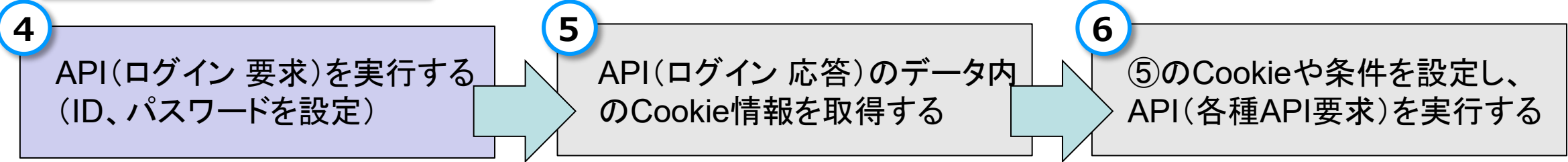
実行に当たっては HTTP ヘッダの「Cookie」に 2.1.3 で取得した「Set-Cookie」の内容を設定する。

略

WebAPI関連資料の読み方

手順

WebAPI



国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

付録 01_SWIM 管理サービス

リクエストライン
(URL、種別:POST)

HTTPヘッダ
(Content-Type)

HTTPボディ
(id、password)

JSONとは・・・

データを表現する仕組み。

key(項目名)とvalue(値)を「:」でつなぐ形式。
複数のkeyを指定する場合は「,」で区切る。

WebAPIインタフェース仕様	機能ID	サービス名	APIID	API名																																			
		SWIM管理サービス		ログイン要求																																			
<p>1. 概要</p> <p>ワンストップ機能 (Web API) を利用するプログラムから呼び出され、本APIで指定されたユーザIDパスワードでユーザ認証を行う。</p> <p>2. API詳細</p> <p>(1) 文字コード: UTF-8</p> <p>(2) リクエスト</p> <p>リクエスト形式</p> <table border="1"> <tr> <td>URL</td> <td colspan="4">https://top.swim.mlit.go.jp/*****/webapi/login</td> </tr> <tr> <td>メソッド</td> <td colspan="4">POST</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(注) URLの「*****/」部分については別途通知</p> <p>HTTPヘッダ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>項目名(日本語)</th> <th>設定内容</th> <th>必須</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Content-Type</td> <td>要求データの形式</td> <td>application/json</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>リクエストパラメータ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名(英字)</th> <th>項目名(日本語)</th> <th>設定内容</th> <th>必須</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>id</td> <td>アカウントID</td> <td>アカウントID (メールアドレス)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>password</td> <td>パスワード</td> <td>パスワード</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					URL	https://top.swim.mlit.go.jp/*****/webapi/login				メソッド	POST				項目名	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考	Content-Type	要求データの形式	application/json	○		項目名(英字)	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考	id	アカウントID	アカウントID (メールアドレス)	○		password	パスワード	パスワード	○	
URL	https://top.swim.mlit.go.jp/*****/webapi/login																																						
メソッド	POST																																						
項目名	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考																																			
Content-Type	要求データの形式	application/json	○																																				
項目名(英字)	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考																																			
id	アカウントID	アカウントID (メールアドレス)	○																																				
password	パスワード	パスワード	○																																				

HTTPボディサンプル

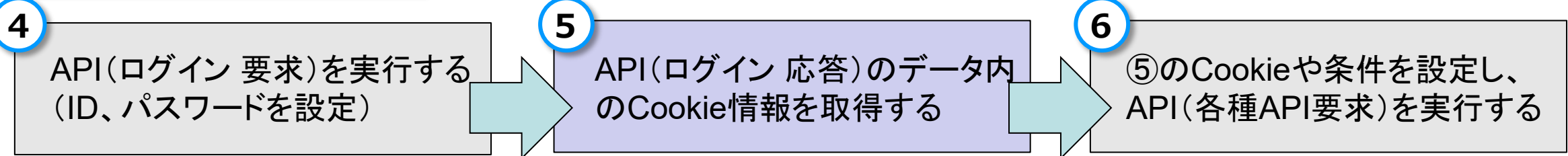
```

{
  "id": "test001@swim.com",
  "password": "password"
}
  
```

WebAPI関連資料の読み方

手順

WebAPI



国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

付録 01_SWIM 管理サービス

ステータスライン
(HTTPステータス)

HTTPヘッダ
(Content-Type、Cookie情報)

HTTPボディ
(error_info)

HTTPヘッダの[Set-Cookie]にはSWIMから払い出されたCookie情報が設定される。
各種API要求時にはHTTPヘッダの[Cookie]にMSMSI、MSMAIの内容を設定してHTTPリクエストを実施する。

WebAPIインタフェース仕様	機能ID	サービス名	APIID	API名
		SWIM管理サービス		ログイン応答

1. 概要
ワンストップ機能 (Web API) を利用するプログラムから呼び出され、本APIで指定されたユーザIDパスワードでユーザ認証を行いその結果を返却する。
認証が成功した場合は、認証済情報ヘッダを払い出しHTTPヘッダに付加する。

2. API詳細

(1) 文字コード: UTF-8

(2) レスポンス

HTTPステータスコード	HTTPボディ (エラー情報)	意味
	エラーコード エラー詳細	
200	0 -	正常終了

HTTPヘッダ

項目名	項目名(日本語)	設定内容	備考
Content-Type	応答データの形式(MIMEタイプ)	application/json	
Set-Cookie	認証済情報ヘッダ	MSMSI=<セッション情報>; MSMAI=<属性情報>; Domain={ドメイン名}; secure	

HTTPボディ

項目名(英字)	項目名(日本語)	設定内容	型	備考
error_info	エラー情報		-	
error_code	エラーコード		int	
error_description	エラー詳細		string	

HTTPボディサンプル

```

{
  "error_info": {"error_code":0,"error_description":""}
}
  
```

WebAPI関連資料の読み方

手順

WebAPI

4

API(ログイン 要求)を実行する
(ID、パスワードを設定)

5

API(ログイン 応答)のデータ内の
Cookie情報を取得する

6

⑤のCookieや条件を設定し、
API(各種API要求)を実行する

国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

付録 04_デジタルノータムリクエストサービス

リクエストライン
(URL、種別:GET)

HTTPボディ
(検索条件、○は必須)

HTTPヘッダ
(Content-Type、Cookie情報)

各種API要求時には共通的に
HTTPヘッダに以下を設定する。
"Content-Type":"application/json",
"Cookie":"受信したCookieの内容(MSMSI、MSMAI)"

WebAPIインタフェース仕様	機能ID	サービス名	APIID	API名																																									
	FUV205	デジタルノータムリクエストサービス	FUV205001	デジタルノータム検索要求																																									
<p>1. 概要 検索条件に該当するデジタルノータムを要求する。</p> <p>2. API詳細</p> <p>(1) 文字コード: UTF-8</p> <p>(2) リクエスト リクエスト形式</p> <table border="1"> <tr> <td>URL</td> <td>https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId={ユーザID}&nof={NOF}&fir={FIR}&location={ロケーション}&notamCode={ノータムコード}&series={シリーズ}&notamNr={ノータム番号}&uuid={UUID}&lowerFL={下限高度}&upperFL={上限高度}&keyword={キーワード}&andOrCondition={AND・OR検索}&display={有効ノータム表示}&validDatetimeStart={有効開始日時}&validDatetimeEnd={有効終了日時}&issueDatetime={発行日時}</td> </tr> <tr> <td>メソッド</td> <td>GET</td> </tr> </table> <p>(注) URLの「*****/」部分については別途通知</p> <p>リクエストパラメータ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名(英字)</th> <th>項目名(日本語)</th> <th>設定内容</th> <th>必須</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>userId</td> <td>ユーザID</td> <td>ログインユーザID</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>nof</td> <td>NOF</td> <td>NOF</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>fir</td> <td>FIR</td> <td>飛行情報区</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>location</td> <td>ロケーション</td> <td>地点略号</td> <td></td> <td>複数ロケーション指定時は「+」で区切る。</td> </tr> <tr> <td>validDatetimeEnd</td> <td>有効終了日時</td> <td>YYYYMMDDhhmm</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>issueDatetime</td> <td>発行日時</td> <td>YYYYMMDDhhmm</td> <td></td> <td>指定日時以降で検索する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>URLサンプル</p> <table border="1"> <tr> <td>URL</td> <td>https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId=user123456&nof=RJAANYX&fir=RJJJ&location=RJAA+RJTT&notamCode=MXCL&series=A&notamNr=0001/21&uuid=dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47dae&lowerFL=000&upperFL=999&keyword=RWY+TWY&andOrCondition=0&display=0&validDatetimeStart=202105091500&validDatetimeEnd=202106161500&issueDatetime=202105081500</td> </tr> </table>					URL	https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId={ユーザID}&nof={NOF}&fir={FIR}&location={ロケーション}¬amCode={ノータムコード}&series={シリーズ}¬amNr={ノータム番号}&uuid={UUID}&lowerFL={下限高度}&upperFL={上限高度}&keyword={キーワード}&andOrCondition={AND・OR検索}&display={有効ノータム表示}&validDatetimeStart={有効開始日時}&validDatetimeEnd={有効終了日時}&issueDatetime={発行日時}	メソッド	GET	項目名(英字)	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考	userId	ユーザID	ログインユーザID	○		nof	NOF	NOF			fir	FIR	飛行情報区			location	ロケーション	地点略号		複数ロケーション指定時は「+」で区切る。	validDatetimeEnd	有効終了日時	YYYYMMDDhhmm	○		issueDatetime	発行日時	YYYYMMDDhhmm		指定日時以降で検索する。	URL	https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId=user123456&nof=RJAANYX&fir=RJJJ&location=RJAA+RJTT¬amCode=MXCL&series=A¬amNr=0001/21&uuid=dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47dae&lowerFL=000&upperFL=999&keyword=RWY+TWY&andOrCondition=0&display=0&validDatetimeStart=202105091500&validDatetimeEnd=202106161500&issueDatetime=202105081500
URL	https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId={ユーザID}&nof={NOF}&fir={FIR}&location={ロケーション}¬amCode={ノータムコード}&series={シリーズ}¬amNr={ノータム番号}&uuid={UUID}&lowerFL={下限高度}&upperFL={上限高度}&keyword={キーワード}&andOrCondition={AND・OR検索}&display={有効ノータム表示}&validDatetimeStart={有効開始日時}&validDatetimeEnd={有効終了日時}&issueDatetime={発行日時}																																												
メソッド	GET																																												
項目名(英字)	項目名(日本語)	設定内容	必須	備考																																									
userId	ユーザID	ログインユーザID	○																																										
nof	NOF	NOF																																											
fir	FIR	飛行情報区																																											
location	ロケーション	地点略号		複数ロケーション指定時は「+」で区切る。																																									
validDatetimeEnd	有効終了日時	YYYYMMDDhhmm	○																																										
issueDatetime	発行日時	YYYYMMDDhhmm		指定日時以降で検索する。																																									
URL	https://web.swim.mlit.go.jp/*****/web/search?userId=user123456&nof=RJAANYX&fir=RJJJ&location=RJAA+RJTT¬amCode=MXCL&series=A¬amNr=0001/21&uuid=dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47dae&lowerFL=000&upperFL=999&keyword=RWY+TWY&andOrCondition=0&display=0&validDatetimeStart=202105091500&validDatetimeEnd=202106161500&issueDatetime=202105081500																																												

略

WebAPI関連資料の読み方

SWIMサーバから返却された応答データの確認

国土交通省 航空局

SWIM サービス API 連携仕様書

付録 04_デジタルノータムリクエストサービス

ステータスライン
(HTTPステータス)

HTTPヘッダ
(Content-Type)

HTTPボディ
(error_info、query、data)

WebAPIインタフェース仕様	機能ID	サービス名	APIID	API名																																																																											
	FUV205	デジタルノータムリクエストサービス	FUV205101	デジタルノータム検索応答																																																																											
<p>1. 概要 検索条件に該当するデジタルノータムを返却する。</p> <p>2. API詳細</p> <p>(1) 文字コード: UTF-8</p> <p>(2) レスポンス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>HTTPステータスコード</th> <th colspan="2">HTTPボディ (エラー情報)</th> <th>意味</th> </tr> <tr> <td></td> <th>エラーコード</th> <th>エラー詳細</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>正常終了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>-</td> <td>正常終了 (対象データなし)</td> </tr> </tbody> </table>					HTTPステータスコード	HTTPボディ (エラー情報)		意味		エラーコード	エラー詳細		200	0	-	正常終了		1	-	正常終了 (対象データなし)																																																											
HTTPステータスコード	HTTPボディ (エラー情報)		意味																																																																												
	エラーコード	エラー詳細																																																																													
200	0	-	正常終了																																																																												
	1	-	正常終了 (対象データなし)																																																																												
<p>HTTPヘッダ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>項目名 (日本語)</th> <th>設定内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Content-Type</td> <td>応答データの形式 (MIMEタイプ)</td> <td>application/json</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目名	項目名 (日本語)	設定内容	備考	Content-Type	応答データの形式 (MIMEタイプ)	application/json																																																																				
項目名	項目名 (日本語)	設定内容	備考																																																																												
Content-Type	応答データの形式 (MIMEタイプ)	application/json																																																																													
<p>HTTPボディ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名 (英字)</th> <th>項目名 (日本語)</th> <th>設定内容</th> <th>型</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>error_info</td> <td>エラー情報</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>error_code</td> <td>エラーコード</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>error_description</td> <td>エラー詳細</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>query</td> <td>検索条件</td> <td>リクエストパラメータ</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>userId</td> <td>ユーザID</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>nof</td> <td>NOF</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>fir</td> <td>FIR</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>location</td> <td>ロケーション</td> <td>ロケーションの配列</td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>validDatetimeStart</td> <td>有効開始日時</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>validDatetimeEnd</td> <td>有効終了日時</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>issueDatetime</td> <td>発行日時</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>data</td> <td>データ</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>totalCount</td> <td>総件数</td> <td></td> <td>string</td> <td></td> </tr> <tr> <td>digitalNotam</td> <td>デジタルノータム</td> <td>デジタルノータム (XML形式) 単位の配列。 ロケーションの昇順、ノータム番号の降順でソートして設定する。</td> <td>string</td> <td>※JSONデータ内でXML形式のデータを解釈可能とするため、XML形式内で使用されるダブルクォーテーションやバックスラッシュ等の記号はエスケープして設定する。 例) XML内に存在するダブルクォーテーション <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> →エスケープ処理後の設定内容 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?></td> </tr> </tbody> </table>					項目名 (英字)	項目名 (日本語)	設定内容	型	備考	error_info	エラー情報		-		error_code	エラーコード		string		error_description	エラー詳細		string		query	検索条件	リクエストパラメータ	-		userId	ユーザID		string		nof	NOF		string		fir	FIR		string		location	ロケーション	ロケーションの配列	string		validDatetimeStart	有効開始日時		string		validDatetimeEnd	有効終了日時		string		issueDatetime	発行日時		string		data	データ		-		totalCount	総件数		string		digitalNotam	デジタルノータム	デジタルノータム (XML形式) 単位の配列。 ロケーションの昇順、ノータム番号の降順でソートして設定する。	string	※JSONデータ内でXML形式のデータを解釈可能とするため、XML形式内で使用されるダブルクォーテーションやバックスラッシュ等の記号はエスケープして設定する。 例) XML内に存在するダブルクォーテーション <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> →エスケープ処理後の設定内容 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
項目名 (英字)	項目名 (日本語)	設定内容	型	備考																																																																											
error_info	エラー情報		-																																																																												
error_code	エラーコード		string																																																																												
error_description	エラー詳細		string																																																																												
query	検索条件	リクエストパラメータ	-																																																																												
userId	ユーザID		string																																																																												
nof	NOF		string																																																																												
fir	FIR		string																																																																												
location	ロケーション	ロケーションの配列	string																																																																												
validDatetimeStart	有効開始日時		string																																																																												
validDatetimeEnd	有効終了日時		string																																																																												
issueDatetime	発行日時		string																																																																												
data	データ		-																																																																												
totalCount	総件数		string																																																																												
digitalNotam	デジタルノータム	デジタルノータム (XML形式) 単位の配列。 ロケーションの昇順、ノータム番号の降順でソートして設定する。	string	※JSONデータ内でXML形式のデータを解釈可能とするため、XML形式内で使用されるダブルクォーテーションやバックスラッシュ等の記号はエスケープして設定する。 例) XML内に存在するダブルクォーテーション <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> →エスケープ処理後の設定内容 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>																																																																											

HTTPボディの[data][digitalNotam]にはXML形式の検索結果が格納されている。適宜、自作のアプリケーションやシステムに取り込んで表示する。

WebAPI関連資料の読み方

SWIMサーバから返却されたデータを活用する

data	データ	-	-
totalCount	総件数		string
digitalNotam	デジタルノータム	デジタルノータム (XML形式) 単位の配列。 ローケーションの昇順、ノータム番号の降順でソートして設定する。	string ※JSONデータ内でXML形式のデータを解釈可能とするため、XML形式内で使用されるダブルクォーテーションやバックスラッシュ等の記号はエスケープして設定する。 例) XML内に存在するダブルクォーテーション <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> →エスケープ処理後の設定内容 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8Y"?>

【XML】

データを構造化するタグを備えていて、人間だけでなくコンピュータ上でも取り扱いやすいフォーマット。

XML形式の例)

<list>

<person>

<name>航空太郎</name>

<age>30</age>

<address>東京都千代田区霞が関...</address>

</person>

<person>

<name>航空次郎</name>

<age>30</age>

<address>東京都千代田区霞が関...</address>

</person>

: (略)

</list>

HTTPボディサンプル

```
{ "error_info": { "error_code": "query", "error_description": "query": { "userId": "user123456", "nof": "RJAAYNYX", "fir": "RJJJ", "location": [ "RJAA", "RJTT" ], "notamCode": "MXCL", "series": "A", "notamNr": "0001/21", "uuid": "dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47dae", "lowerFL": "000", "upperFL": "999", "keyword": [ "RWY", "TWY" ], "andOrCondition": "0", "display": "0", "validDatetimeStart": "202105091500", "validDatetimeEnd": "202106161500", "issueDatetime": "202105081500" } "data": [ { "totalCount": "2", "digitalNotam": [ "<?xml version='1.0' encoding='UTF-8Y?>"<message:AIXMBasicMessage gml:id='uuid.6aad9942-4170-43d3-9f8f-ec230f477be1Y' xmlns:aixm='http://www.aixm.aero/schema/5.1.1Y'~略~xmlns:xlink='http://www.w3.org/1999/xlinkY'><message:hasMember><aixm:RunwayDirection gml:id='uuid.8eebc792-52ff-485f-9e5a-39da0b034390Y'><gml:identifier codeSpace='urn:uuid:Y'>8eebc792-52ff-485f-9e5a-39da0b034390</gml:identifier><aixm:timeSlice><aixm:RunwayDirectionTimeSlice gml:id='id.3571c750-346b-40b6-b4d8-92a7eb4aca91Y'><gml:validTime><gml:TimePeriod gml:id='vt.id.3571c750-346b-40b6-b4d8-92a7eb4aca91Y'><gml:beginPosition>2021-05-10T00:45:00Z</gml:beginPosition><gml:endPosition>2021-06-07T08:45:00Z</gml:endPosition></gml:TimePeriod>~略~</aixm:RunwayDirectionTimeSlice></aixm:timeSlice></aixm:RunwayDirection></message:hasMember><message:hasMember><event:Event gml:id='uuid.dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47daeY'><gml:identifier codeSpace='urn:uuid:Y'>dc296f9b-0149-4cef-8e93-650444b47dae</gml:identifier><event:timeSlice>
```

まとめ ～SWIMとWebAPIの仕組み・関係について～

SWIM



WebAPI

1

WebAPIの基本構造

クライアントがサーバにHTTPリクエストを送り、サーバからのHTTPレスポンスを受け取る仕組み。

2

利用までの流れ

SWIMポータルからアカウントを作成し、希望のサービスの利用申請等の手続きを行う。

3

API連携仕様書の確認ポイント

仕様書はSWIMポータルからダウンロードする。
SWIM管理サービスと各サービスの動作仕様を参照。

4

実装時のポイント

基本構造や流れ、仕様書構成を理解し、サービス（リクエスト・レスポンス）に応じた処理を作り込む。



Total Airport Management (TAM) とは？

ICAO GANP/ASBU ACDM-B2/3
Total Airport Management (TAM)
解説

国土交通省航空局交通管制部運用課
航空情報企画調整官 龍 幸信



ASBU ELEMENTS

ACDM-B2/3

Functional Description

Enablers

Deployment Applicability

Performance Impact Assessment

ACDM

ACDM-B2/3

Total Airport Management (TAM)

Operational

DEPENDENCIES AND RELATIONS

Type of Dependencies	ASBU Element
Relation-operational need	SWIM-B2/1 - Information service provision
Relation-operational need	SWIM-B2/2 - Information service consumption
Relation-operational need	SWIM-B2/3 - SWIM registry
Relation-information benefit	FICE-B2/2 - Filing Service
Relation-information benefit	FICE-B2/4 - Flight Data Request Service
Relation-information need	AMET-B2/1 - Meteorological observations information
Relation-information need	AMET-B2/2 - Meteorological forecast and warning information
Relation-information benefit	FICE-B2/5 - Notification Service

“ Total Airport Management (TAM) is an approach that takes a holistic view of airport performance management, integrating all stakeholders including the ATM network, local ATM, passenger terminal operations, service providers, passenger and baggage management and ground transportation. All stakeholders are integrated into a coherent planning and collaborative decision-making process using shared information and capabilities.”

『トータル・エアポート・マネジメント (TAM) とは、空港のパフォーマンス管理を包括的に捉えるアプローチであり、ATMネットワーク、ローカルATM、旅客ターミナル運営、サービスプロバイダー、旅客・手荷物管理、地上交通など、すべてのステークホルダーを統合するものです。すべてのステークホルダーは、共有された情報と能力を活用し、一貫性のある計画策定および協調的な意思決定プロセスに統合されます。』

TAM全体概要

Total Airport Management (TAM) とは



◎ 包括的な運用管理

TAMは空港運用の全体最適化を目指し、関係者の協調を促進します。

◎ 関係者の統合

航空管制、航空会社、地上支援、旅客ターミナル、交通機関が共通の情報基盤で連携します。

◎ ネットワーク“ノード”としての空港

空港は航空輸送ネットワークの重要なノードとして、内外の状況を踏まえた運用が必要です。

◎ 継続的な監視と改善

戦略計画から事後分析までの全フェーズで空港パフォーマンスを向上させます。

TAMの目的と期待される効果



◎ 協調的意思決定の強化

多様な空港関係者が連携し、効率的な運用とサービス品質向上を実現する。

◎ 4D軌道（4D Trajectory）に基づく運航管理

各フライトが時間を含む3次元軌道通りに出発・到着できるよう全プロセスを連携させる。

◎ 運用効率と遅延削減

チェックインからタキシングまでの各プロセスを調整し遅延とリソース無駄を減らす。

◎ 事前計画と混乱最小化

最新情報に基づく計画で当日の混乱を抑え、関係者全員に利益をもたらす。

TAMを構成する主要要素



◎ Airport Operations Plan (AOP)

AOPはフライト情報や需要予測、気象情報を統合し、空港運用の予測性を高めます。

◎ Airport Operations Center (APOC)

APOCは関係者が集まり協調的に状況監視と意思決定を行う空港の中核機能です。

◎ ランドサイド管理の統合

ランドサイド管理は旅客流動やターミナル混雑、地上交通を統合し包括的パフォーマンスを可能にします。

運用フェーズと計画レイヤー



◎ Pre-tacticalフェーズ

戦略的な事前計画を行い、需要予測と制約条件を考慮し最適な運用計画を策定します。

◎ Tactical-Pre opsフェーズ


当日の運用前に調整を行い、計画を柔軟に見直し共有して準備を整えます。

◎ Tactical-During opsフェーズ

リアルタイムで運用を監視し、気象や状況変化に応じて即時調整を行います。

◎ 一貫した運用管理

出発、到着、タキシー、ターンアラウンドなどの運用プロセスを統合的に管理します。



TAMの主な機能 と特徴

◎リアルタイム監視システム

空港内外の状況を常に把握し、異常や遅延の兆候を早期に検知する役割を果たします。

◎意思決定支援システム

複数の選択肢を比較評価し、関係者の合意形成を支援する客観的根拠を提供します。

◎協調運用手順の標準化

エアサイド、ランドサイド、旅客管理を統合し、円滑で整合性のある運用を実現します。



SWIMMEE

SWIM Education and
Enhancement team



【第3回SWIMMEE】

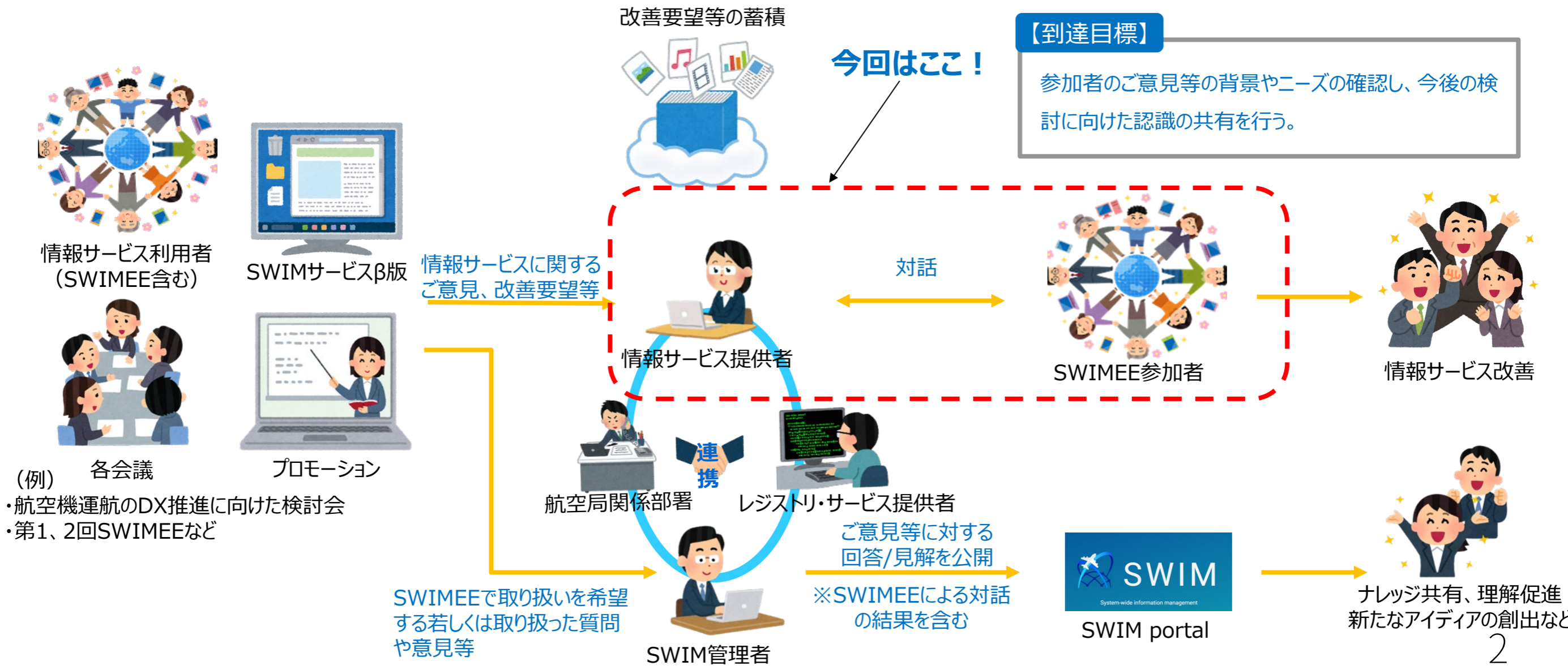
情報サービスの改善要望等の共有

航空交通管制サービス高度化センター
航空情報センター・航空交通管理センター・東京/関西FAIB

令和8年5月14日

目的

各情報サービス提供者が日頃から収集しているご意見等について、SWIMEE参加者との対話を踏まえ、その背景やニーズについて理解を得るとともに、今後の検討に向けた認識の共有を行い、情報サービスの充実に繋げる。



議題の構成

No.	内容	担当
1	サービスの表示順の変更について	航空交通管制サービス高度化センター
2	利用承認有りの情報サービスの処理	航空交通管理センター
3	情報サービスの改善要望等の共有	
└3-1	➤ 空港・空域プロファイルサービス	航空交通管理センター
└3-2	➤ 航空情報関連サービス	航空情報センター
└3-3	➤ フライトプラン登録サービス	東京FAIB

1. サービスの表示順の変更について

2025年1月10日のSWIM portalオープン以降、SWIMEE等において、参加者、利用者の多くからサービスの表示順を上から「配信サービス⇒WEBサービス」から「WEBサービス⇒配信サービス」に変更してもらいたいとの要望がありました。これを踏まえて、**2026年4月24日からサービスの表示順を「WEBサービス⇒配信サービス」に変更（改善）した。**

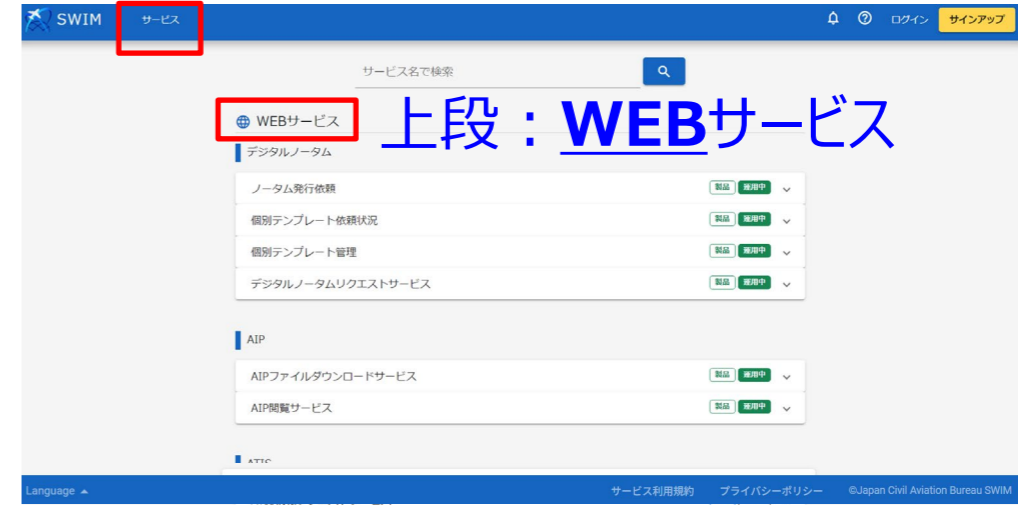
改善前（配信サービス⇒WEBサービスの順）



ブラウザのサービスを使う予定だったのに上段に表示される配信サービスを申請してしまった！



改善後（WEBサービス⇒配信サービスの順）



WEBサービスが上段に表示されるので気づきやすい！



スクロールすると...

改善

スクロールすると...



WEBサービスがスクロールしないと表示されないので、気づかなかったし、気づきにくい...



ブラウザのサービスが上段に表示されていたので、配信サービスを誤って申請するおそれが減った！

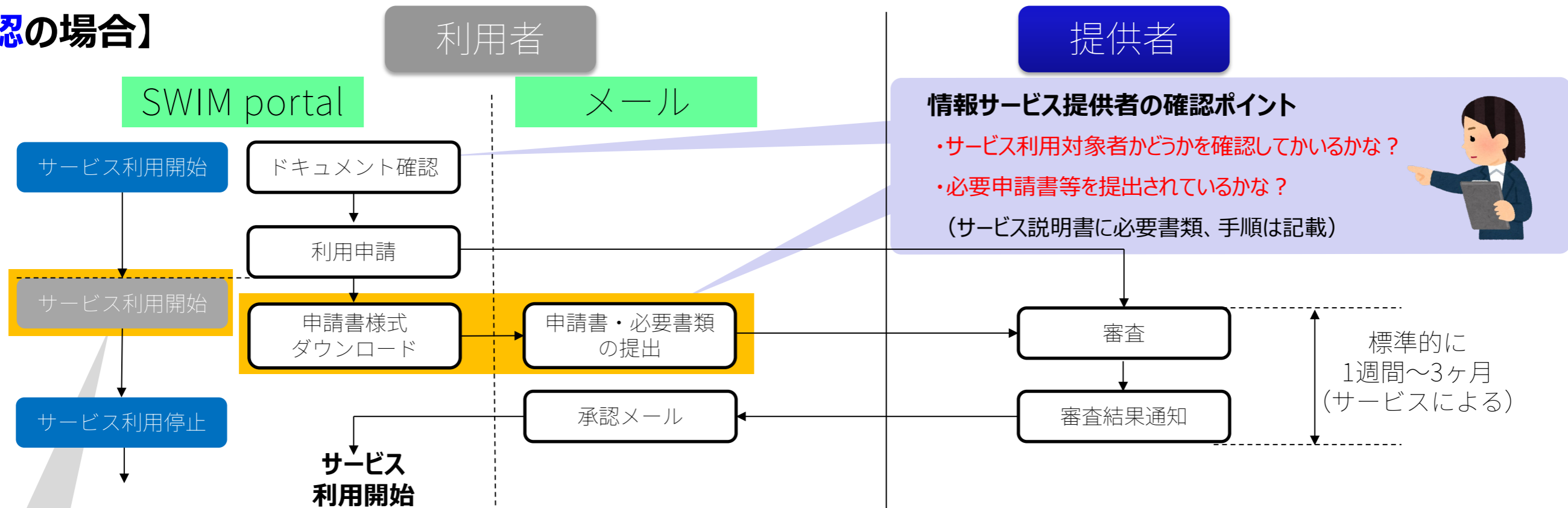


2. 利用承認ありの情報サービスの処理

- 2026年3月4日から段階的な情報サービスの提供を開始したところ。
- 情報サービスのうち、利用承認ありの情報サービスについて、情報サービス提供者の視点で情報サービス利用者が申請時に留意すべき点や分かりにくい点が見えてきたので、情報サービス利用者の皆様に共有して、今後の情報サービス利用者の皆様の利用申請の改善を図ることを目的として作成した資料である。
- また、今後、情報サービスの利用申請機能の改善も皆様のご意見を伺いながら検討していきたい。

2. 利用承認ありの情報サービスの処理

【承認の場合】



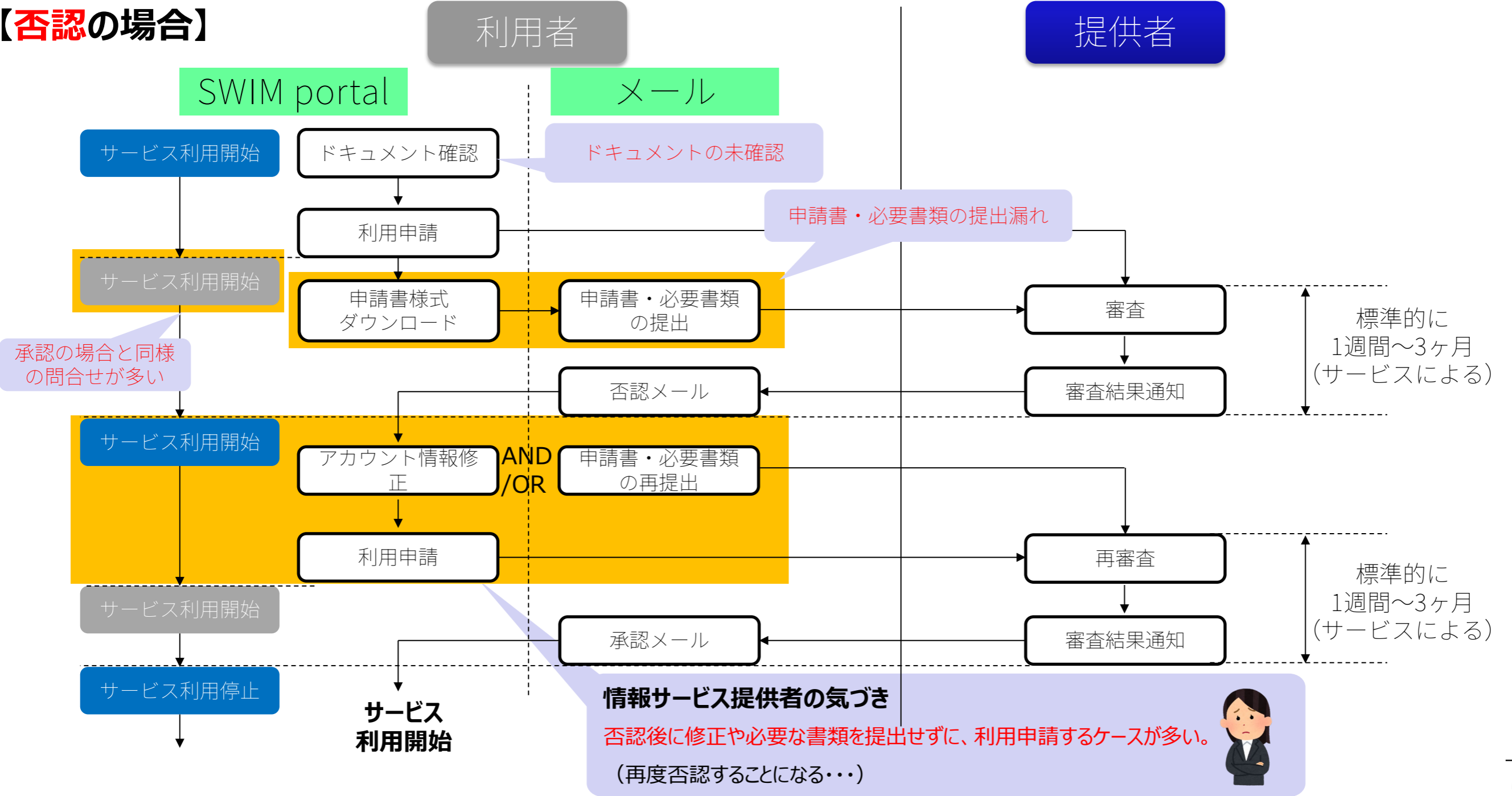
情報サービス利用者からの主な問合せ

1. サービス利用開始ボタンを押下したが、サービスを利用できない
2. 利用申請の審査状況を知りたい
3. 利用申請後、すぐにサービスが利用できるのか



2. 利用承認ありの情報サービスの処理

【否認の場合】



3-1. 情報サービスの改善要望等の共有～空港・空域プロフィール～航空交通管理センター

レイヤー設定・表示に関する利用者からの改善要望

○レイヤーリスト（項目構成）に関する要望

1. 新規項目追加して欲しい
2. レイヤーの細分化をして欲しい

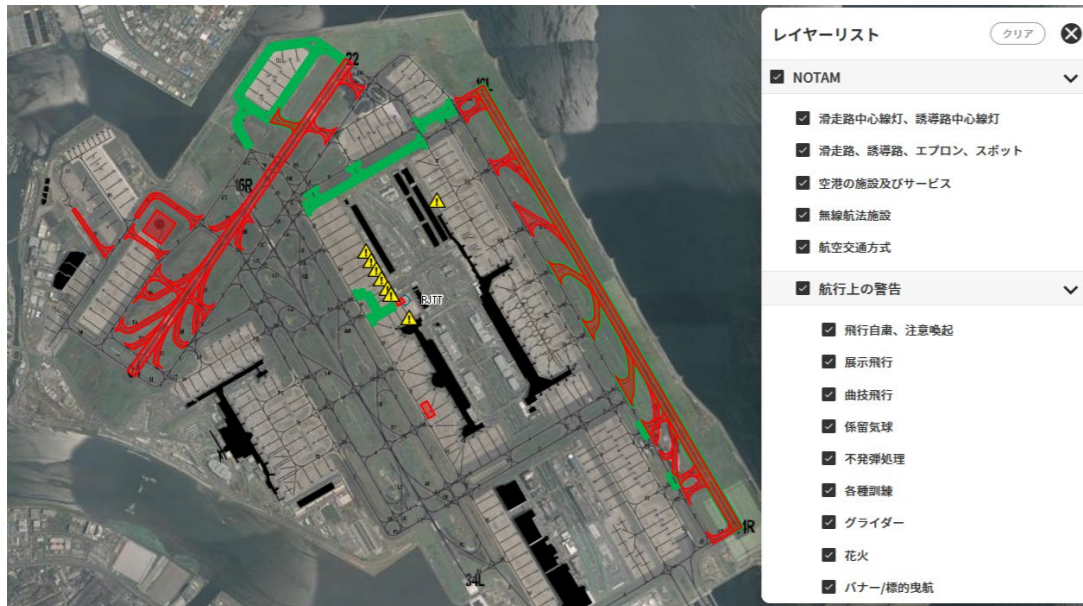
○レイヤー表示（見え方）に関する要望

1. アイコンの表示の大きさを変更して欲しい
2. ポリゴンの色を変更して欲しい

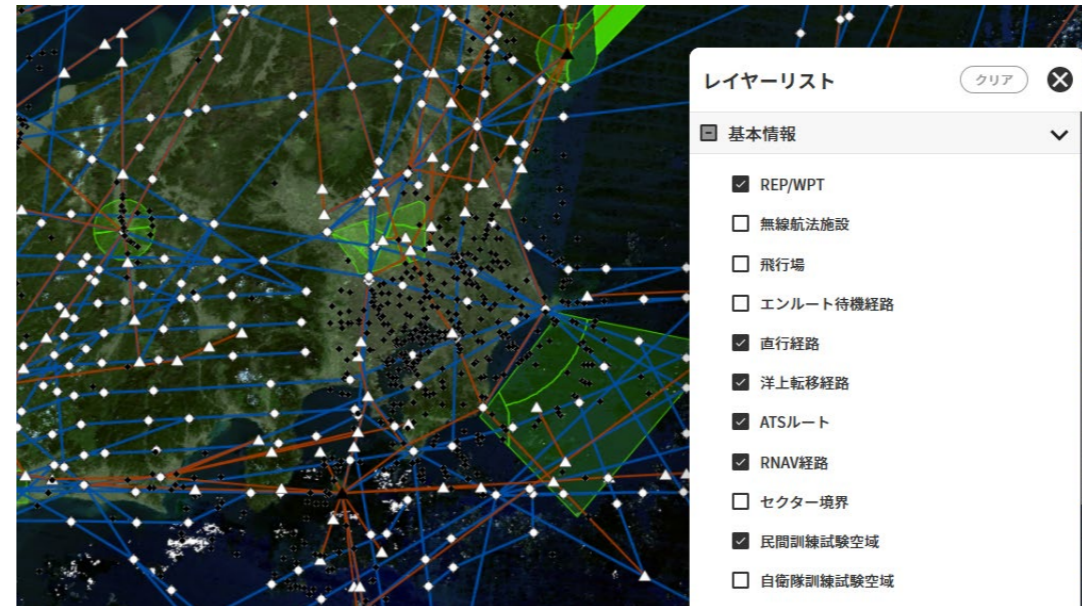
レイヤー情報に関する課題

利用者の目的や立場により把握したい内容が異なる一方で、レイヤーの表示単位（要素別）が柔軟に対応できていない

⇒情報の不足／過多のため、必要な情報を迅速的確に表示させることが難しい



空港プロフィール画面



空域プロフィール画面

必要な情報は
どれかな？



サービス利用者

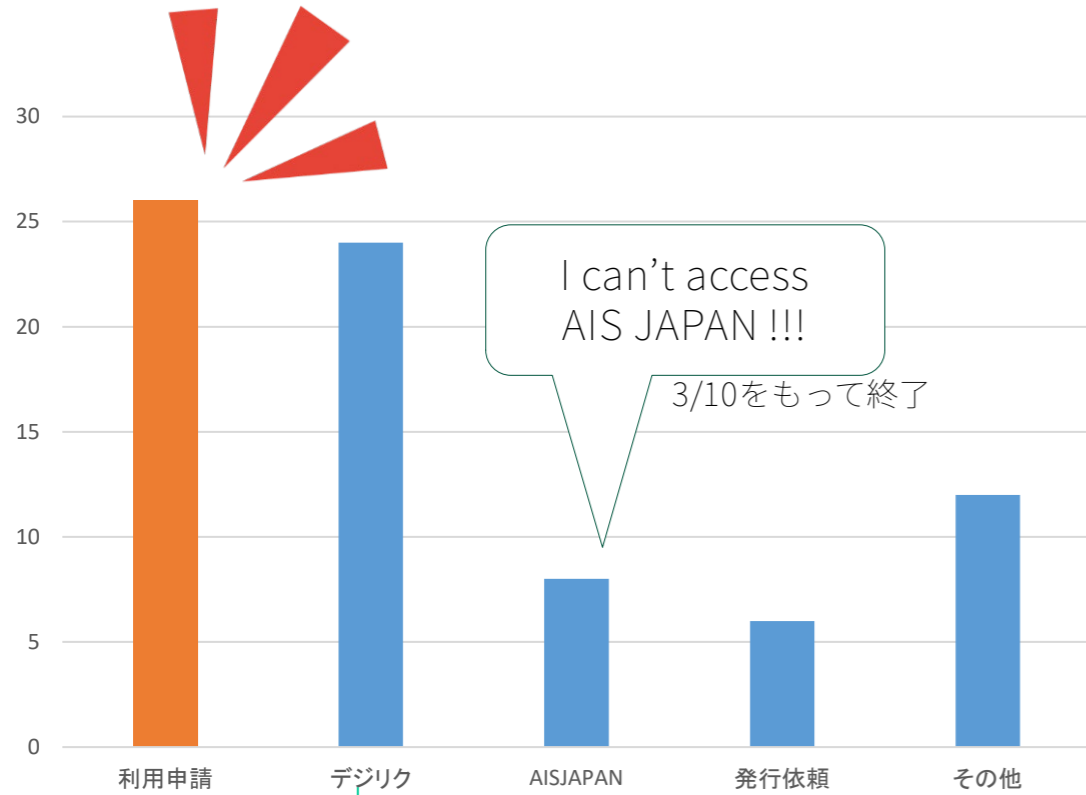
3-2. 情報サービスの改善要望等の共有～航空情報関連サービス～航空情報センター

情報サービス提供者による事例、気づきなどの共有

航空情報センター ヘルプデスク
 問い合わせ（3/1-18）：155件
 そのうち新サービスに関する内容が76件

利用申請に係る問い合わせ：26件

本当に配信サービスを利用したい方は、申請件数の1%程度の見込み



デジタルノータム
リクエストサービス関連

デジタルノータム
登録サービス関連

2位：“利用開始”の未実施
に起因する問い合わせ

アカウント登録したのに、利用中サービスや利用サービス一覧に表示されない等の問い合わせをいただきました。原因は、サービス毎に「サービス利用開始」をしていないことによるものでした。

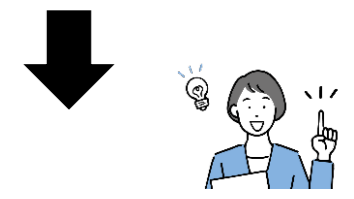


利用開始前の状態

利用開始後の状態

1位：配信サービスの誤申請に関する問い合わせ

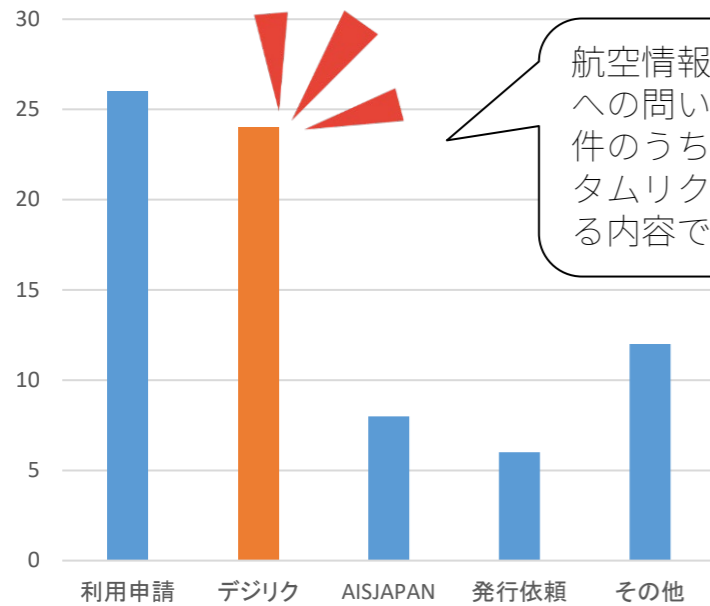
利用申請したのにAIPが閲覧できない、ノータムが確認できない等の問合せを多数いただきました。原因は、**誤ってデータ配信サービスに利用申請を行っていた**ことによるものでした。



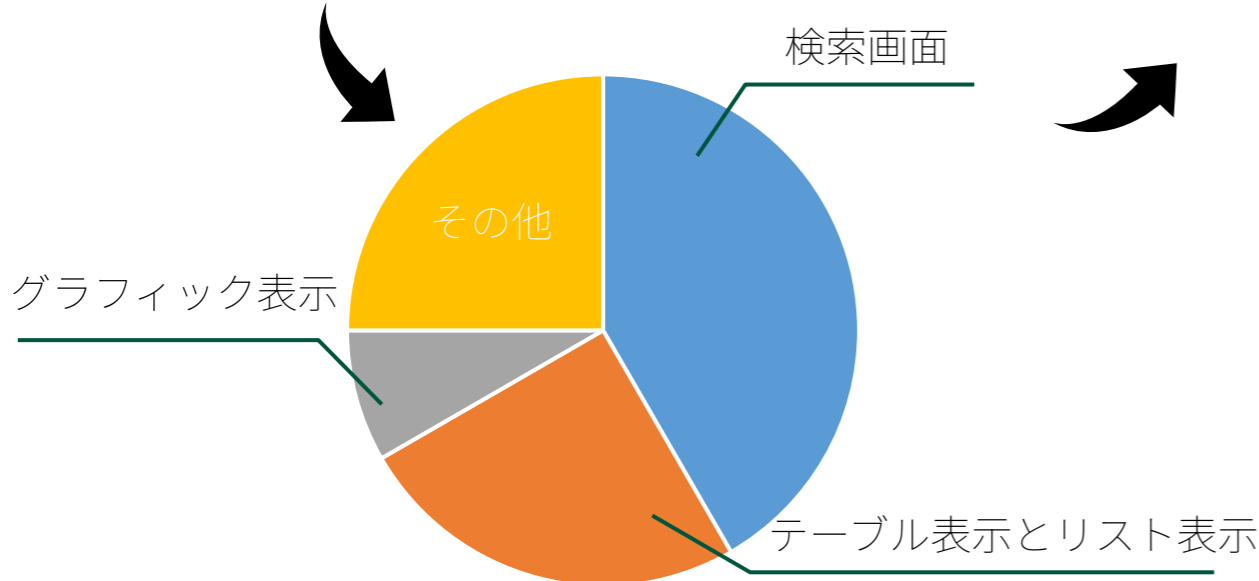
サービスの表示順を「WEBサービス⇒配信サービス」に変更予定(改善)

3-2. 情報サービスの改善要望等の共有～航空情報関連サービス～航空情報センター

デジタルノータムリクエストサービス
に対する問い合わせ状況



航空情報センターヘルプデスク
への問い合わせ (3/1-18) 155
件のうち、24件がデジタルノ
ータムリクエストサービスに関
する内容でした。



問い合わせ内容の詳細

検索画面

- 空港ロケーション以外の検索方法がわからない
- フィルターの検索条件を保存しておきたい
- 日時の指定に「今から24時間以内」などのボタンがほしい

検索結果

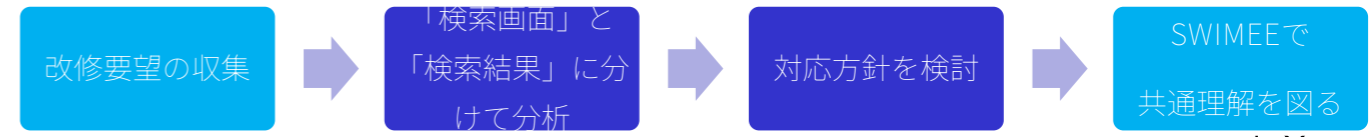
テーブル表示

- テーブル表示で印刷できない
- テーブル表示でノータム本文が確認できない
- リスト表示の見方がわからない

グラフィック表示

- オーバーレイできない
- 閉鎖箇所に向かってズームインできない (中心がずれる)

「検索画面に対する要望」と「検索結果に対する要望」に分けて整理し、
対応方針を検討していくこととしたい。

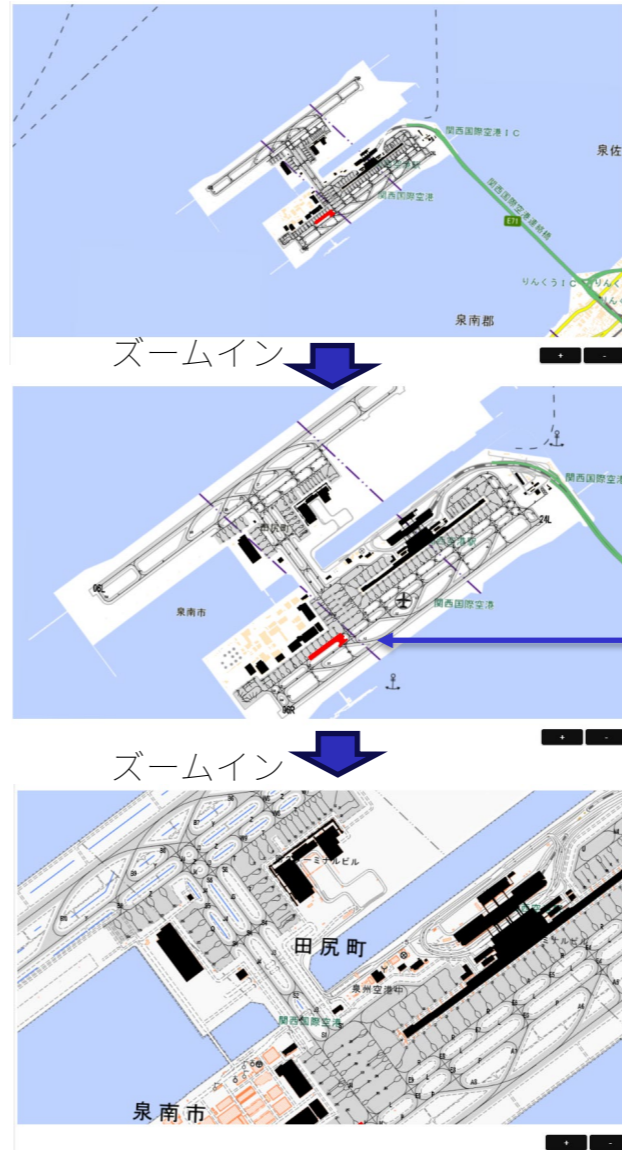
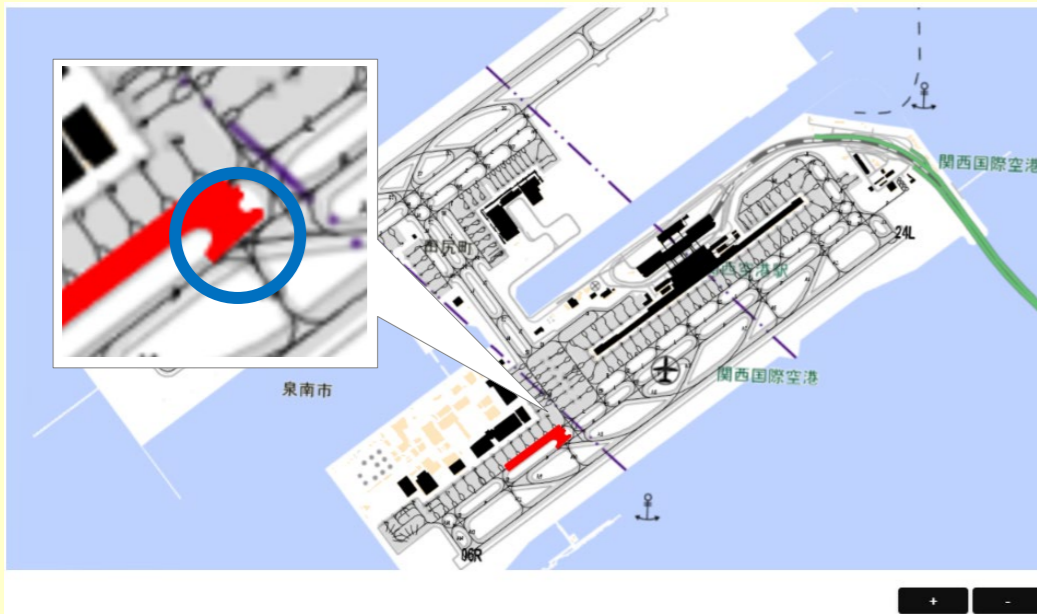


3-2. 情報サービスの改善要望等の共有～航空情報関連サービス～航空情報センター

関西エアポート株式会社さまからのご指摘事項

運航者から「デジタルノータムリクエストサービスで表示した際、閉鎖されていない誘導路Pが閉鎖されているように見えるため、閉鎖中の誘導路であると誤認する恐れがある」との報告があり確認したところ、事実そのとおりであった。

運航者が誤解・誤認する可能性のある図面表示については、可能な限り是正または改善を検討いただきたい。



閉鎖箇所に向かってズームインできない
(中心がずれる) ことが要因と分析

デジタルノータムリクエストサービスではこれ以上拡大表示できないが



空港プロフィールサービスでズームインして表示すると



誘導路Pは閉鎖されていないことが確認できる

運用面に影響を及ぼす改善要望として承り、今後の改修に向けて対応してまいります。

3-3. 情報サービスの改善要望等の共有～フライトプラン登録サービス～東京FAIB

【利用者の変革】

SATサービス

- ◆提出したフライトプランに関して
 - ・ 常時航空局からの照会等に対応できる体制
 - ・ 航空機の運航を把握できる体制が整っていることが利用条件



運航管理担当が常時フライトプランの受理状況の確認が可能

個人運航者

SWIM フライトプラン登録サービス

- ◆サービス利用者の対象拡充
⇒個人運航者利用可

運航管理担当がない場合
パイロット自らがフライトプランの
受理状況を確認しなければならない



個人運航者

【利用者拡大による新たな課題】

- ◆ユーザーはフライトプランの登録後、適切に受理されたことをSWIMポータルへアクセスし確認を行う。
⇒SWIMポータルにおいて、登録したフライトプランの審査状況が不明であり、かつREJ（却下）またはACK（受理）された際に気づきにくい。
⇒利用者は出発前の他の準備に追われているため、都度SWIMポータルへアクセスし確認を行うことが負担。
⇒個人運航者に関しては自身以外にフライトプラン審査状況を確認する者がいない。
- ◆REJされたフライトプランに対し、利用者からしばらく訂正がない場合、FAIBから電話等で通知している。

<ワークショップ等でいただいたご要望（一例）>

- ・ 通報一覧画面にて修正が必要な状態「REJ」のフライトプランは背景色を変更してほしい
- ・ フライトプランが受理された場合又は訂正が必要な場合に、SWIMポータル上でのポップアップ表示等の通知機能を付加してほしい



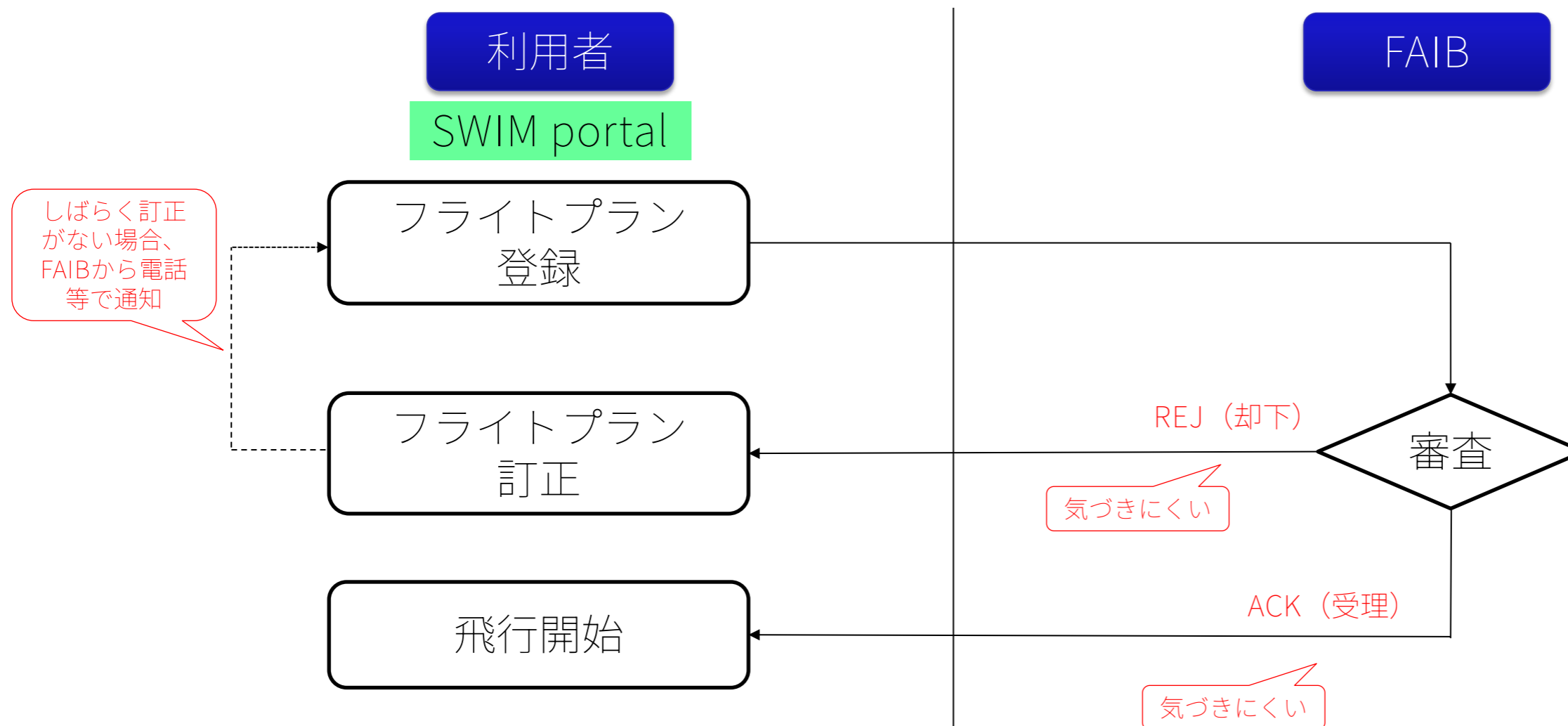
FAIBとしても、ご利用者様の声を継続的に
収集・分析し、その結果をより質の高い
サービス提供につなげていく方針です。

よろしく申し上げます



3-3. 情報サービスの改善要望等の共有～フライトプラン登録サービス～東京FAIB

フライトプラン登録の処理フロー



通報一覧画面 航空 太郎 1

11/11 03:12	Filed Flight Plan	ACK	5733402b-ce9e-4775-83c1-...	ATS0040	RJTT	11/11 04:00	RJFK
11/11 02:59	Filed Flight Plan	REJ	05cf6d58-c49e-442a-b0c3-...	ATS0030	RJTT	11/11 03:00	RJFK
11/11 02:58	Filed Flight Plan	REJ	457ca3ae-0575-426d-8ea1-...	ATS0020	RJFF	11/11 03:00	RJFK
11/10 23:41	Filed Flight Plan	REJ	3479d5db-093f-4d63-83fb-...	ATS0010	RJTT	11/11 00:00	RJFF

ステータス確認が負担



【第3回SWIMMEE】

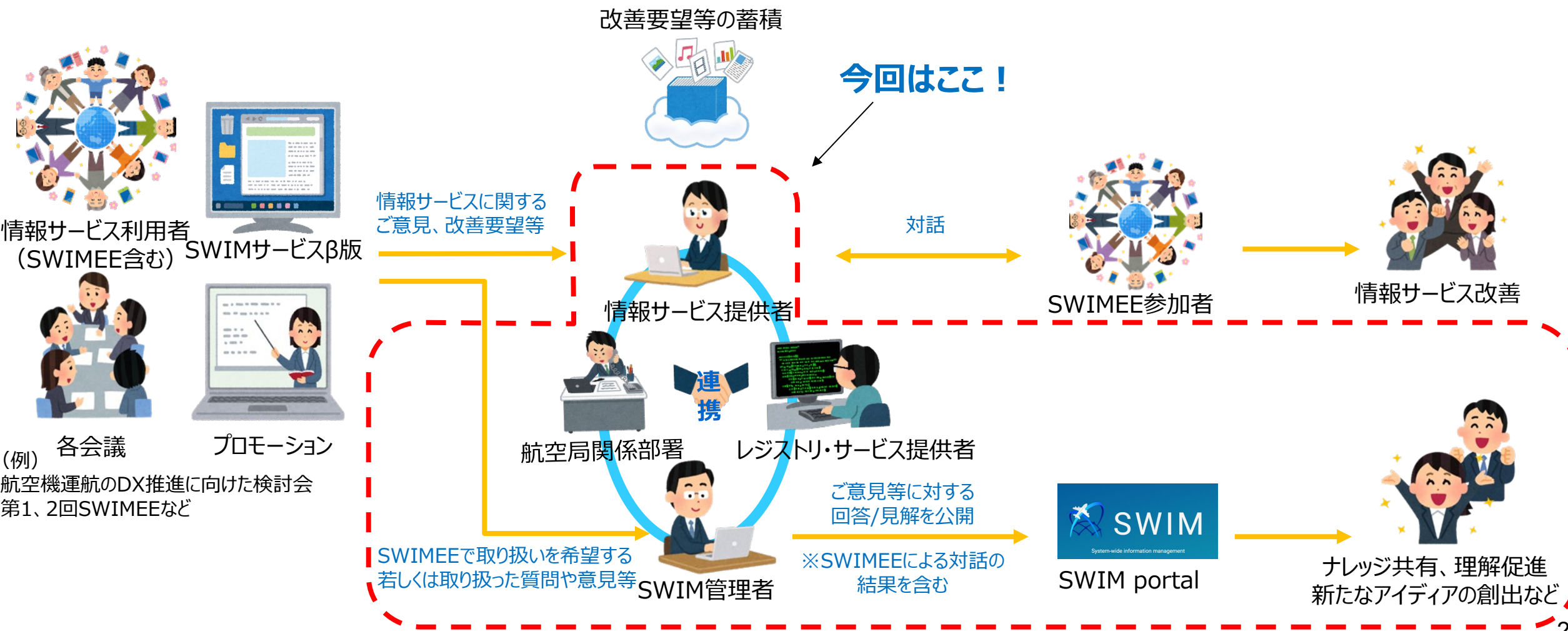
SWIMMEEに関する質問・意見等の公開について

航空交通管制サービス高度化センター情報高度化推進課

令和8年5月14日

SWIMEEに関する質問・意見等の公開について

【再掲】情報サービスの改善等（サービス改善のプロセス図）



SWIMEEに関する質問・意見等の公開について

利用者からの質問等を常時受け付け、その回答を公開することにより、透明性の向上、知識共有と学習促進、コミュニケーションの活性化、改善サイクルの加速、信頼関係の強化、意思決定の支援など多様なメリットが得られる。また、同様の質問が既に投稿され回答が公開されている場合には、利用者が個別に質問することなく問題解決できるため、効率的な情報提供が可能となる。これらを通じて、情報サービスの継続的な改善につなげることを目的とする。

※本仕組みは、SWIMEEでの取り扱いを希望する若しくは取り扱ったご質問やご意見等を受付け、原則公開するものです。**各情報サービスに関する問い合わせ（申請手続き、操作方法など）は情報サービス提供者へお問い合わせください。**

※下記ボタンからリンク先のページへ移動します。

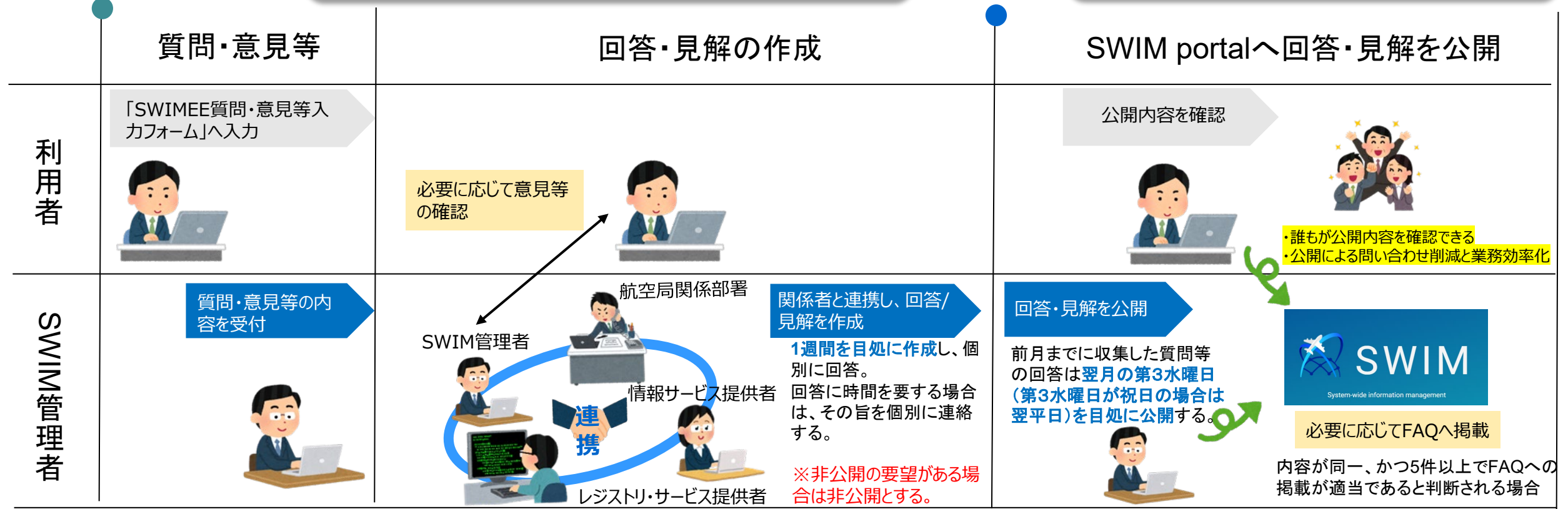
※下記ボタンからリンク先のページへ移動します。

・SWIMEE質問・意見等入力フォーム (Microsoft Forms)

SWIMEE質問・意見等入力フォームはこちらをクリック

SWIM portal 掲載場所

SWIM portal 意見等公開はこちらをクリック



意見等の受付～回答/見解の作成～公開まで

収集する質問、意見等の対象

原則としてSWIMEEでの取り扱いを希望する若しくは取り扱ったご質問、意見等を収集する。ただし、以下に該当する場合は、収集の対象外とする。

- ① SWIMに関係しない意見等
- ② 要機密情報に該当するもの（業務上公開できないもの、個人情報など）
- ③ 誹謗中傷が含まれるもの
- ④ その他SWIM管理者が判断したもの

回答の作成と公開

収集した質問、意見等は航空局関係課室、レジストリ・サービス提供者、情報サービス提供者及びSWIM管理者が連携の上、回答を作成し、以下に従って公開する。

- 1. 公開とする情報及び公開までの期間等
 - ① 原則として、意見等提出者の情報（意見等を提出した個人または企業・組織が特定できる情報（個人名、連絡先、企業・組織名））および下記 2 を除き、**全て公開対象**とする。
 - ② 意見等を受け付けてから**1週間を目処に回答を作成**し、個別に回答する。回答に時間を要する場合は、個別に連絡する。
 - ③ 前月までに収集した質問等の回答は**翌月の第3水曜日（第3水曜日が祝日の場合は翌平日）を目処にSWIM portalに公開**する。なお、初回のみSWIM portalにおけるインフォメーションの通知を行い、回答の更新に係るインフォメーションの通知は行わない。（第3水曜日に更新されることをSWIMEE等において周知する）
 - ④ 意見等を受け付けてから回答に時間を要する場合は、意見等のみを先行してSWIM portalに公開する。
 - ④ 意見等の内容が同一で、かつ5件以上寄せられ、FAQへの掲載が適当であると判断される場合は、公開するリストには掲載したまま、回答はFAQ化している旨を記載する。
- 2. 非公開とする情報
 - ① **非公開の要望**があった場合
 - ② 意見等の内容が**一般的な操作方法**に関するもの
- 3. その他
SWIM portal (<https://top.swim.mlit.go.jp/swim/servicedetails/reference/S9001>)

SWIMEE等における意見・回答について	
ドキュメント	SWIMEE等における意見・回答
説明	SWIMEE等における質問・意見に対して回答/見解を公開
更新日時	

SWIM portal掲載のイメージ

質問、意見等の収集方法は以下のとおりとする。

質問、意見等の収集方法

- ① SWIMコミュニティ
- ② SWIM管理者への問合せ
- ③ SWIM管理者が案内するMicrosoft Formsを活用したフォームからの問い合わせ (<https://forms.office.com/r/igyRBC1WrQ?origin=lprLink>)

2026年6月1日 運用開始を目標

日 程：2026年9月頃を予定！

場 所：検討中！

議題案：

- **SWIMにおけるデジタル技術～Pub/Sub編～**
- **情報サービスのユースケース**
- **その他SWIMの継続的な発展に関する議題**

こういった議題を取り扱ってほしい！というものがあれば以下のリンクからお知らせください！

<https://forms.office.com/r/igyRBC1WrQ?origin=lprLink>